

資料編

| | |
|-------------------------|-----|
| I. 方針策定の経過 | 88 |
| II. 市民意見把握の取組 | 96 |
| (1) 平成 29 年度第 4 回市民意識調査 | 96 |
| (2) スポーツ関係団体等アンケート調査 | 99 |
| (3) 市民ワークショップ | 112 |
| (4) パブリックコメント実施 | 116 |
| III. 施設情報一覧表 | 127 |

I. 方針策定の経過

■ 検討経過

| | |
|----------------------|--|
| 平成 30 年(2018 年) 1 月 | 平成 29 年度第 4 回市民意識調査 |
| 平成 30 年(2018 年) 2 月 | スポーツ関係団体アンケート調査 |
| 平成 30 年(2018 年) 7 月 | 市民ワークショップ実施 |
| 平成 30 年(2018 年) 7 月 | 平成 30 年度 第 1 回 札幌市スポーツ施設配置・活用計画検討委員会(以下「検討委員会」) |
| 平成 30 年(2018 年) 10 月 | 平成 30 年度 第 2 回検討委員会 |
| 平成 30 年(2018 年) 11 月 | 平成 30 年度 第 3 回検討委員会 |
| 平成 30 年(2018 年) 11 月 | 平成 30 年度 第 4 回検討委員会 |
| 平成 30 年(2018 年) 12 月 | 平成 30 年度 第 5 回検討委員会 |
| 平成 31 年(2019 年) 2 月 | 平成 30 年度 第 6 回検討委員会 |
| 令和元年(2019 年) 7 月 | 令和元年度 第 1 回検討委員会 |
| 令和元年(2019 年) 11 月 | 令和元年度 第 2 回検討委員会 |
| 令和 3 年(2021 年) 1 月 | 令和 2 年度 第 1 回検討委員会(書面会議) |
| 令和 3 年(2021 年) 3~4 月 | パブリックコメント実施 |
| 令和 3 年(2021 年) 5 月 | 札幌市スポーツ施設配置活用実施方針 策定 |

■ 検討委員会名簿(五十音順、敬称略)

| 役 職 | 所 属 | 氏 名 |
|------|-------------------------|-------|
| 委員長 | 一般財団法人 札幌市スポーツ協会 名誉会長 | 霜 觸 寛 |
| 副委員長 | 北海道教育大学札幌校 教授 | 石澤 伸弘 |
| 委員 | 一般社団法人 札幌市障がい者スポーツ協会 会長 | 浅香 博文 |
| 委員 | 北海学園大学工学部建築学科 教授 | 石橋 達勇 |
| 委員 | 北海道大学大学院工学研究院 准教授 | 小篠 隆生 |

■ 検討委員会のまとめ

平成 30 年度 札幌市スポーツ施設配置・活用計画検討委員会のまとめ（抜粋）

1. 概要

札幌市では、人口増加や都市化が急速に進行する中で、昭和 47 年の冬季オリンピックの開催や、政令指定都市への移行などを契機に、地下鉄や公共施設といった都市基盤施設を充実させてきました。体育館や温水プールなどのスポーツ施設についても、こうした中で、市民の健康への関心の高まりに合わせ、短期間に集中的に充実させてきました。

その後、人口の増加は緩やかとなり、将来的には札幌市の人口も減少することが予想されています。また、今後、同時期に相次いで整備された札幌市のスポーツ施設は、老朽化が進行し、一斉に建替時期を迎えることが予想されます。

このため、これまでのように新たなスポーツ施設を次々に整備できる状況ではなく、施設総量を抑制することも真剣に考えなければなりません。

一方、スポーツは、疾病を予防し、メンタルヘルスや生活の質の改善などの効果をもたらすことが認められるなど、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠のものと考えられ、スポーツをする機会を確保することは、高齢化する社会において益々重要性を増しています。

本委員会は施設総量を抑制しながらも、市民のスポーツをする機会を確保するという課題を念頭に、市が所有するスポーツ施設の中でも、一般の市民の利用が多い施設に重点を置き、体育館や温水プールなどの屋内施設に加え、サッカーやテニス、野球などの屋外施設の将来的なあり方について議論しました。

議論の結果、本委員会ではいくつかの点で、これまでの考え方を見直し、「新たな考え方」が必要であるとの結論に至りました。

例えば、人口や年齢構成、交通利便性、民間施設の立地状況などのスポーツ施設を取り巻く環境は各区で異なることから、これまで体育館などで目指してきた 1 区 1 館といった考え方は、全面的に見直すべきだと考えます。真に効率的な施設配置を考えるためには、こうしたこれまでの考え方に固執することなく、「新たな考え方」で一から効果的な配置を考え直すことが必要です。

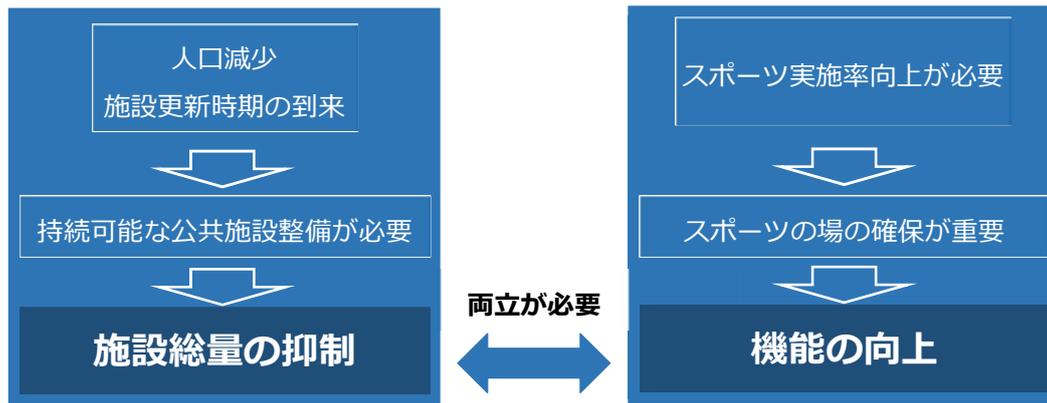
また、施設総量の抑制とスポーツをする場の確保を両立するためには、スポーツ施設以外の公共施設や、民間事業者との連携を最大限活用することが必要だと考えます。このためには、それぞれの施設を所管する部局だけの目的だけでなく、市全体の視点から市民の利益を追求する必要があります。更に、単にスポーツ施設の効率だけでなく、駅周辺のまちづくりの中での集客交流施設としての役割や全市的視点からの財政の健全性を考慮するなど、都市計画部門や財政部門などの他部局の協力も必要であり、縦割りの考えを改め、部署を横断し全庁的な議論をする「新たな考え方」が不可欠です。

将来、人口規模などの社会情勢に見合った、持続可能な施設規模としながらも、オリンピック・パラリンピックなどの国際大会を初めとした競技機能や、高齢化に伴ってますます重要性を増す運動・健康づくり機能を担う施設環境を目指すには、多くの知恵が必要になります。今後の市役所内部での議論、更には民間企業や市民を含めた市役所の枠を超えた議論に向けて、本委員会の議論がその一助となることを望みます。

札幌市スポーツ施設配置・活用計画検討委員会

2. 将来的な課題

- 札幌市の人口は今後、減少傾向に転じることが予想されており、財政面からも、市税収入等の落ち込み、社会保障費の増加が予想されることに加え、今後、人口増加に伴って集中的に整備してきた施設の更新時期が一齐に到来することから「施設総量の抑制」が必要だと考えられます。
- 一方、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む基盤として、誰もが日常的にスポーツに親しむ機会を充実し、スポーツ参画人口の拡大を図るための場を確保することが重要であり、スポーツをする場の「機能の向上」を目指す必要があります。
- このため、スポーツ施設配置・活用計画は、市有建築物の配置基本方針の考え方を十分に踏まえた計画とするとともに、今後は上記のこうした課題を両立するために役立つ計画とすることが必要です。



3. 計画の基本理念

- 「将来的な課題」を踏まえ、今後、施設配置や活用を検討する上での基本理念を以下のとおりとすることを提言します。

<基本理念>

スポーツを通じて「共生のまち」を支え、未来へつなぐ札幌型施設環境の実現

<計画目標>

- 人口減少など、変化する社会情勢の中でも持続可能な施設配置を実現する。

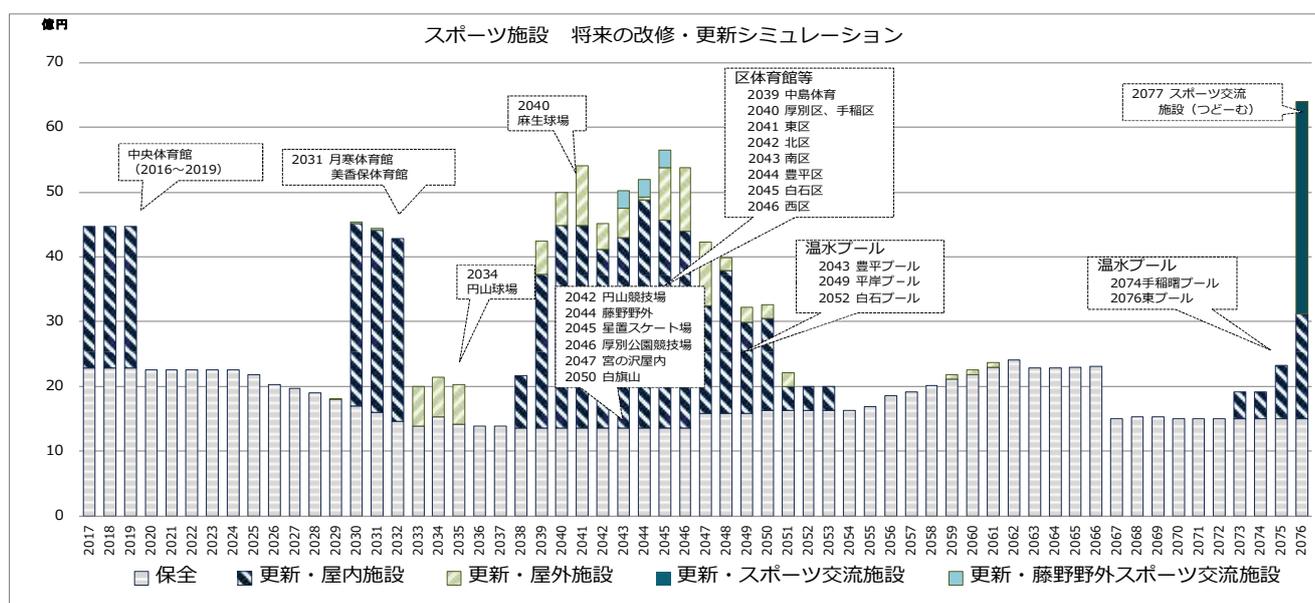
⇄ 両立が必要

- 誰もがスポーツを楽しみ、健康や生きがいを得られるスポーツ環境を実現する。
- 共生社会^{※6}を実現し、経済や地域の活性化に貢献できるスポーツ環境を実現する。
- ウィンタースポーツ拠点としてふさわしいスポーツ環境を確保する。

※6 【共生社会】…誰もが相互に人格と個性を尊重して支えあい、人々の多様なあり方を相互に認め合える全員参加型の社会。

4. 施設配置・活用の基本的方向性（屋内施設）

- 既存のスポーツ施設は、長寿命化に向けた適切な維持管理を実施し、基本的に寿命を迎えるまで最大限利用することが必要です。その上で、体育館については約20年後、温水プールについては約30年後から寿命を迎える施設が本格的に増えることが予想されます。
- 今後は建替時期を迎えるまでに、公共スポーツ施設以外の施設も多目的に利用し「**(1) スポーツの場を確保**」することや、運営体制やプログラムを工夫することで「**(2) 機能向上**」を図ることを検討し、市民がスポーツをする機会を増やす工夫をする必要があると考えます。
- その上で、適切なスポーツ環境の確保が図られれば、公共スポーツ施設以外の施設と役割分担をし、「**(3) 効率的な施設整備**」によりスポーツ施設の利便性や機能性を高め、利用しやすい施設とした上で、施設の総量を抑制することができると考えます。



※札幌市スポーツ局所管のスポーツ施設を対象に試算

※耐用年数を木造は45年、鉄筋コンクリート造等は60年（安全確保ができる可能性のある施設は80年）として試算

(1) スポーツをする場の確保の方向性

スポーツをする場となる可能性のある、札幌市の公共スポーツ施設以外の施設は以下が考えられます。

・ コミュニティ施設^{※19}

札幌市市有建築物の配置基本方針では「小学校区に相当する地域コミュニティエリアに、必要な機能を1つの公共施設に集約して多機能化を図り多世代交流の場を創出する」とされています。運動・健康づくり機能については、より身近な地域で確保するため、こうしたコミュニティ施設をより一層活用することを検討することが必要です。

・ 学校施設（学校開放、学校プール、大学）

札幌市では小中学校において学校教育に支障のない範囲で体育館、グラウンド、格技室、プールなどの学校体育施設を開放しており、これらの利便性向上を図ることで更なる利用促進を目指すことが考えられます。特に学校プールについては、施設の多目的化に向けた整備や、利用時期や時間、利用対象者の拡大について検討することが考えられます。また、市内の大学も体育館等の施設を所有しており、市民の運動・健康づくりや競技大会の開催等で連携を模索することも考えられます。

※19 【コミュニティ施設】…区民センター、地区センターなどの地域施設。

・ 民間施設

昨今の健康志向の高まりに応じて、24時間利用可能であったり、利便性の高い立地のスポーツジムや体型の改善に特化した施設など、多様なニーズに対応し、特色あるサービスを提供する、様々な民間の施設が充実し、運動をする場として重要な役割を担うようになってきています。今後は公共スポーツ施設の総量を抑制する必要があり、より多くの民間施設がスポーツをする機会を提供し、その役割を果たすことが期待されます。このため、それぞれのニーズに対応した民間施設で、対価を払ってでもスポーツをしたいという市民が増えるよう意識醸成を計るなど、民間施設が運営しやすい環境作りをすることが求められます。

また、こうした施設と公共スポーツ施設との連携を模索することも、将来のスポーツ環境の確保のためには重要です。特に温水プールについては、民間施設の中に類似の機能を所有している施設も多く、現在も民間施設であるサンシャインスポーツクラブ（中央区）、北海道青少年会館コンパス（南区）の協力を得て、公的温水プールとして一般開放していることから、こうした例を先進事例とし、民間施設との連携について拡大することを検討することが考えられます。

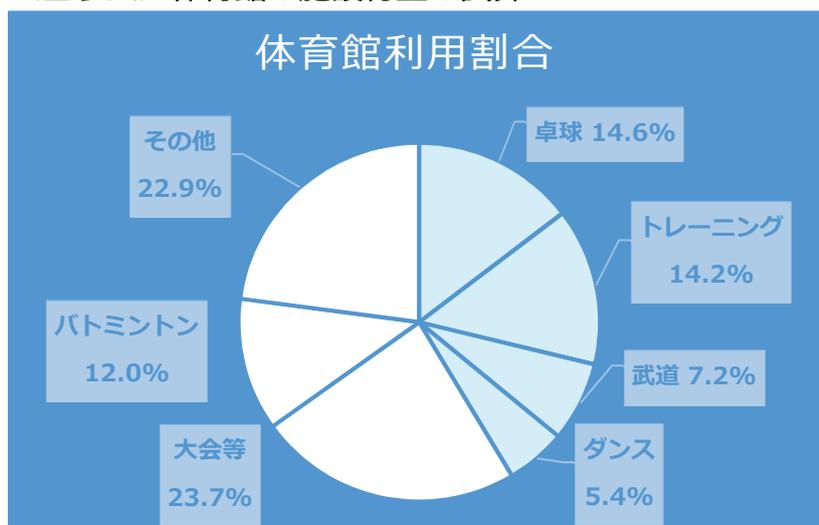
・ 近隣都市のスポーツ施設

札幌市の近郊には多くのスポーツ施設が立地しており、市民がそれらの施設を利用する、また、近郊の住民が市内の施設を利用するなど、市町村の枠にとらわれない連携が重要です。特に大規模な大会など大きな会場が必要になり、市内の施設が利用できない場合、余裕のある近隣都市の施設を利用するケースが見られます。近隣市町村と連携し、市民が市内施設を利用するのと同じように利用できる仕組みを整えたり、利用できる施設の情報をPRするなど、近隣市町村と連携し、競技団体等の利用者が利用しやすい仕組みを検討することが考えられます。

・ 公園、河川敷等の公共の場

国のスポーツ実施率向上のための行動計画では、「スポーツそのものの捉え方について、既成の概念を広げて、生活に身近なものであるという意識改革を図る。ウォーキング、散歩、ひと駅歩き、階段昇降等も含め、目的をもって楽しく体を動かせば、それがスポーツである。スポーツはアスリートのものだけではなく、みんなのものであるという認識の情報発信をしていく。」とされており、公園、河川敷等でウォーキングやサイクリングなどで利用しやすい環境を作ることで、スポーツをする機会を増やすことが考えられます。

<コラム> 体育館の施設総量の試算



平成 28 年度 指定管理施設利用状況総覧より集計

例えば、卓球、トレーニング、武道、ダンスなどの大きなスペースを必要とせず、コミュニティ施設^{※19}等での利用が想定できる主な競技の個人利用は、体育館利用者数全体の41.4%を占めています。このうち、コミュニティ施設で2/3を担うことができると仮定すれば27.6%の体育館を削減できると想定されます。

※19 【コミュニティ施設】…区民センター、地区センターなどの地域施設。

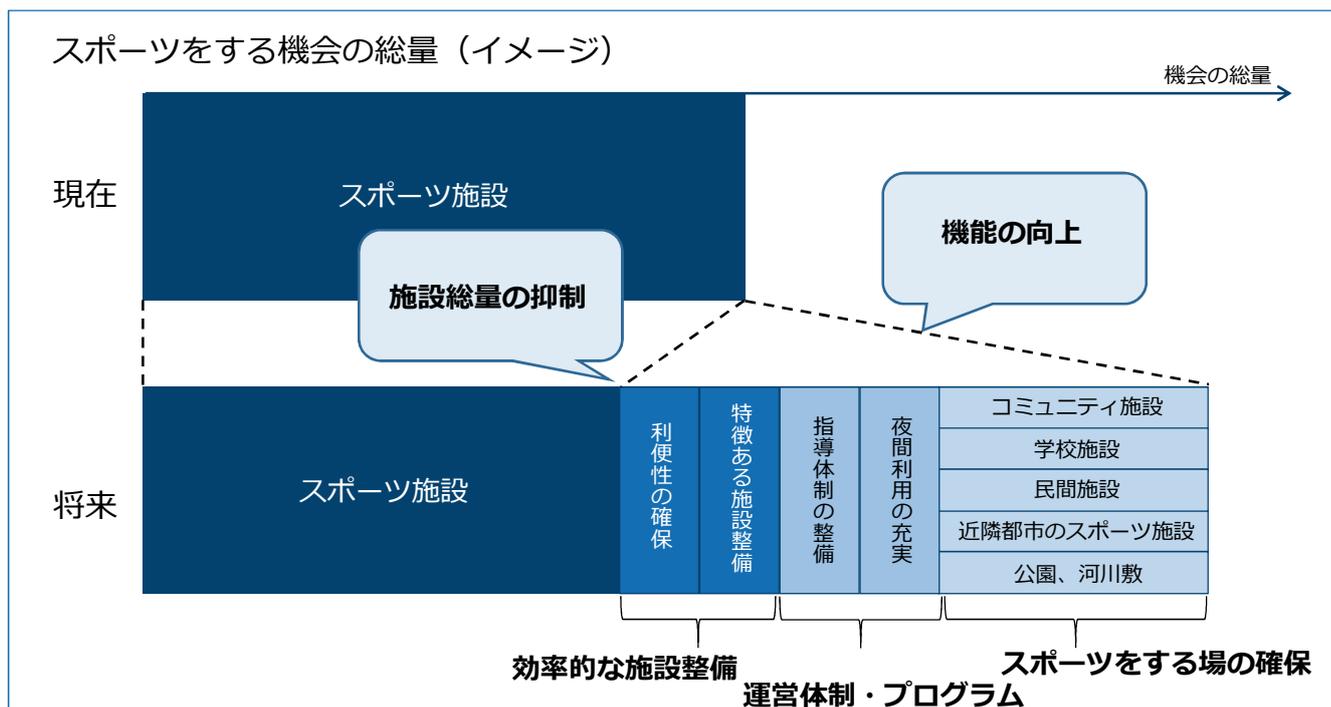
(2) 機能向上に向けた運営体制・プログラムの方向性

・ 指導体制の整備

スポーツの経験が少ない利用者でも、いつ行っても気軽にスポーツができる環境を整えるため、各体育館に指導体制を整備し、貸し館中心の運営から脱却することで、市民のスポーツをする機会を増やすことが考えられます。

・ 夜間利用の充実、管理手法の研究

仮に施設総量が減ったとしても、利用できる時間帯を増やすことができれば、スポーツをする機会を増やすことができます。このため、例えば機械による管理で24時間開放する方法など、管理手法を研究することが考えられます。



(3) 効率的な施設整備の方向性

・ 「施設維持」から「機能重視」へ

複数の異なる目的の施設を1つの建物にまとめ、共用部分や重複する居室を共有化する「複合化」や、施設の用途を限定せず、曜日や時間帯等を区切りながら複数目的のために使用する「多目的化」などの手法を用いて、1つの施設を多機能化することで、地域に必要な機能を維持するにとどまらず、より効率的な活用が可能になると考えられます。

・ 施設配置基準の見直し

これまでは区体育館や温水プールは1区1施設の考え方を基本に施設を配置してきましたが、効率的な施設配置を検討するための前提条件として、この考え方から完全に脱却すべきと考えます。それぞれの地域で異なる民間スポーツ施設やコミュニティ施設^{※19}の整備状況を考慮し、公共スポーツ施設の総量を抑制しながら、機能を強化するなど、地域の実情に応じた配置を論理的に考えることが必要です。

・ 利便性の確保

今後は高齢者が増加する中で、自家用車を利用しない市民が増加することが見込まれ、市内の公共交通ネットワークを生かし、全ての市民が利便性を享受できる施設配置を検討することが必要で

※19 【コミュニティ施設】…区民センター、地区センターなどの地域施設。

す。特に多くの市民が訪れる地下鉄や JR の駅周辺などの地域交流拠点^{※12}においては、生活を支えるより高度な都市機能や居住機能を集約することで利便性を向上させるとされており、体育館については地域交流拠点に配置することで、こうした拠点の利便性向上にも結びつくと考えられます。

・ 他施設との役割分担

全ての施設に同じような設備を備えることは重複を生み非効率となる可能性があります。競技者の比較的少ない競技では、それぞれの施設で特定の競技を行うことができる施設を備え、役割分担することで、施設を有効活用しながら、全体としては多様な使い方に対応することができると考えられます。

また、例えば運動・健康づくり機能をコミュニティ施設が担うことで、体育館では広いスペースを必要とする競技や国際的、全国的な大会開催、障がい者スポーツ等に重点を置いたり、民間プールが運動・健康づくり機能を担うことで、温水プールは競技大会や水中ウォーキングなどの高齢者に重点を置いたりすることができます。それぞれの施設の役割分担をはっきりすることで、施設総量を抑制しながら、機能を強化することが可能になると考えられます。

5. 個別施設計画の検討

- 建替時期を迎え基本方針を定めた施設については、個別施設に適用可能な手法及び今後の行動計画を検討し、個別施設計画として取りまとめます。その際には以下の点に配慮することが考えられます。

・ ライフサイクル・マネジメント

施設が建設され解体されるまでの間には、初期の建設費の数倍の費用がかかるといわれ、建物の生涯にわたる費用を抑えるためには、事前に運営や修繕更新手法を考慮し、計画を立て進めることが重要です。このため、施設計画の検討においても、施設の長寿命化、点検・保守整備・修繕更新に優れた材質や設備、更なる改善に向けたデータ収集の仕組み、資源エネルギーの有効活用等を考慮し、建設費だけでなく、運営や修繕更新の費用を含めた、施設の生涯（ライフサイクル）を通じた経済性について検討することが必要です。

また、スポーツ施設を取り巻く環境は今後、大きく変化していくことが考えられます。その際にも、施設を有効活用するため、活用方法や用途を柔軟に変えることができるよう、施設を更新する際には建築物の柱や骨組みで構造を支え、仕切り壁を簡易なものにしたスケルトン・インフィル方式^{※38}等の採用を検討することが考えられます。

・ PPP/PFI^{※40} の検討

スポーツ施設は利用料を集め運営費用の一部にあてている収益施設であるという側面があり、民間による運営のメリットが大きい施設だと考えられ、公共施設等の整備にかかるコストの縮減、経済活性化及び経済成長を実現するものとして期待されます。そのため、コスト削減に加え、事業収入の増加や附帯事業等を増やすなど、民間事業者が相当程度の裁量を有し、創意工夫やノウハウを活かすことで、事業の効率化やサービスの向上を図れるよう、サウンディング型市場調査^{※41}を実施するなど、民間活用の仕組みを検討することが考えられます。

※12 【地域交流拠点】…交通結節点である主要な地下鉄・JR駅周辺で、インフラの整備状況や機能集積の現状・動向等から地域の生活を支える主要な拠点としての役割を担う地域又は、区役所を中心に生活利便機能が集積するなどして区の拠点としての役割を担う地域。札幌市立地適正化計画（平成28年（2016年）3月策定）における、医療・福祉・商業等の都市機能を誘導し集約を図る都市機能誘導区域。

※38 【スケルトン・インフィル方式】…建物のスケルトン（柱・梁・床等の構造躯体）と、スケルトンよりも耐用年数が短いインフィル（内外装・設備等）とを分離することで、躯体を維持したまま内外装等を何度でも入れ替えられる工法。

※40 【PPP/PFI】…PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）は官民が連携して公共サービスの提供を行う手法。PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアチブ）はPPPの代表的な手法のひとつで、民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法。あくまで地方公共団体が発注者となり、公共事業として実施。

※41 【サウンディング型市場調査】…公有資産の有効活用や施策検討にあたって、検討の早い段階で、民間事業者との意見交換等を通し、事業に対して幅広く提案・意見を求める市場調査。

・ 防災・脱 CO2

スポーツ施設には災害時の避難場所としての役割を担うことが求められており、停電時でも電気を供給することができる、非常用電源やコジェネレーション^{※39}、物資の備蓄など災害に備えた設備の導入について検討することが考えられます。また、CO2 削減のため、高気密な建築物とすることや特に温水プールなどでの熱の需要が高い施設では、廃熱の利用やコジェネレーションの利用を検討することが考えられます。

・ ユニバーサルデザイン^{※25}

国籍や年齢、性別、障がいの有無に関係なく、全ての人ができるだけ使いやすいように、公共交通機関でのアクセスや施設のデザインなど、施設計画の当初から最大限の努力をはらって計画する必要があります。

6. 計画の具体化に向けた課題

- 計画の具体化に向けては、施設を新築する場合でも、既存施設を改修して利用する場合でも、まず、必要な機能の再検討と市民の利用ニーズを満たす機能性や利便性を持たせることを検討する必要があります。そして、施設自体の適正な総数と配置を同時に達成するために、企画段階において、施設の役割をもう一度見直すところから始め、十分な時間をとり、関係部署や組織との調整を図って行く必要があります。これらについては、事前に相当の調整が必要になると考えられます。

・ 施設の多目的利用に向けた課題

改修、新築を問わず、新たな市民のニーズに対応したスポーツ施設を再配置・活用する計画づくりには、今まで単一の目的に使われていた施設を、多くの目的を持ち、市民スポーツの発展を促す場として利用するため、得てしてその障壁ともなっていた設置基準等の見直しを含め、施設自体のあり方を検討する必要があります。また、同じ施設を多目的に利用するためには、本来の目的での利用との調整が必要となり、こうした仕組みについても、縦割りを見直し、部署を横断して検討する必要があります。

・ まちづくりと連動した施設整備

札幌型の公共施設を創っていくために、スポーツ施設もその一翼を担う必要があります。その時、重要になるのは、地域交流拠点^{※12}への公共施設再配置の流れの中にスポーツ施設を組み込むことです。多くの地域交流拠点がある地下鉄駅周辺は利便性の高い地域であり、既に多くの建物が立地し、まとまった空地などは少なく、土地の確保は非常に困難です。しかし、地域交流拠点においても、建物が老朽化し、建替時期が近づいている地域もあることから、スポーツ施設を地域交流拠点に配置するためには、再開発などまちづくりの機運を捉え迅速に検討を進めるとともに、地域交流拠点の集客交流やにぎわいを担う施設としての役割を果たすなど、まちづくりと連携し計画を進める必要があります。また、既存の施設が地域交流拠点の周辺に配置されている場合にも、スポーツ施設の利便性や地域交流拠点のまちづくりの中でのスポーツ施設の役割を慎重に検討する必要があります。

このため、都市計画部門とも連携し、地域交流拠点のあり方を検討する中でスポーツ施設の果たすべき役割を考えるなど、まちづくりの検討と合わせ、時間をかけて検討を進める必要があると考えます。

※12 【地域交流拠点】…交通結節点である主要な地下鉄・JR駅周辺で、インフラの整備状況や機能集積の現状・動向等から地域の生活を支える主要な拠点としての役割を担う地域又は、区役所を中心に生活利便機能が集積するなどして区の拠点としての役割を担う地域。札幌市立地適正化計画（平成28年（2016年）3月策定）における、医療・福祉・商業等の都市機能を誘導し集約を図る都市機能誘導区域。

※25 【ユニバーサルデザイン】…文化・言語・国籍や年齢・性別・能力などの違いにかかわらず、出来るだけ多くの人が利用できることを目指した建物・製品・情報などの設計（デザイン）。

※39 【コジェネレーション】…エンジンや燃料電池などを用いて、発電と同時に、その廃熱を利用して温熱・冷熱を取り出し、総合エネルギー効率を高めるエネルギー供給システム。

II. 市民意見把握の取組

(1) 平成29年度第4回市民意識調査

■ 調査期間

平成30年（2018年）1月12日（金）～1月26日（金）

■ 調査対象者

札幌市全域の18歳以上の男女5,000人（住民基本台帳からの等間隔無作為抽出）

■ 回収結果

| | |
|-----|--------|
| 発送数 | 5,000通 |
| 回収数 | 2,602通 |
| 回収率 | 52.0% |

■ 回答者の属性

| | | 実数 | 比率 (%) |
|-------|--------|-------|--------|
| 対象者全体 | | 2602 | 52.0 |
| 性別 | 男性 | 994 | 38.2 |
| | 女性 | 1,587 | 61.0 |
| | 無回答 | 21 | 0.8 |
| 年齢 | 29歳以下 | 214 | 8.2 |
| | 30～39歳 | 330 | 12.7 |
| | 40～49歳 | 468 | 18.0 |
| | 50～59歳 | 452 | 17.4 |
| | 60～69歳 | 560 | 21.5 |
| | 70歳以上 | 558 | 21.4 |
| | 無回答 | 20 | 0.8 |
| | 居住区別 | 中央区 | 301 |
| 北区 | | 364 | 14.0 |
| 東区 | | 330 | 12.7 |
| 白石区 | | 245 | 9.4 |
| 厚別区 | | 178 | 6.8 |
| 豊平区 | | 295 | 11.3 |
| 清田区 | | 156 | 6.0 |
| 南区 | | 212 | 8.1 |
| 西区 | | 294 | 11.3 |
| 手稲区 | | 209 | 8.0 |
| 無回答 | | 18 | 0.7 |

| | | 実数 | 比率 (%) | |
|-------|--------------|-------|--------|------|
| 対象者全体 | | 2602 | 52.0 | |
| 職業 | 会社役員 | 81 | 3.1 | |
| | 会社員 | 651 | 25.0 | |
| | 公務員 | 103 | 4.0 | |
| | 自営業 | 99 | 3.8 | |
| | パート・アルバイト | 407 | 15.6 | |
| | 主婦・主夫 | 564 | 21.7 | |
| | 学生 | 75 | 2.9 | |
| | 無職 | 506 | 19.4 | |
| | その他 | 83 | 3.2 | |
| | 無回答 | 33 | 1.3 | |
| | 世帯構成 | 単身世帯 | 435 | 16.7 |
| 一世代世帯 | | 797 | 30.6 | |
| 二世帯世帯 | | 1,070 | 41.1 | |
| 三世帯世帯 | | 110 | 4.2 | |
| その他 | | 148 | 5.7 | |
| 無回答 | | 42 | 1.6 | |
| 同居家族 | | 配偶者 | 1,601 | 61.5 |
| | | 乳幼児 | 140 | 5.4 |
| | 就学前児童 | 165 | 6.3 | |
| | 小学生 | 253 | 9.7 | |
| | 中学生 | 139 | 5.3 | |
| | 高校生 | 147 | 5.6 | |
| | 大学（院）生・専門学校生 | 128 | 4.9 | |
| | 65才以上の高齢者 | 390 | 15.0 | |
| | 上記以外 | 559 | 21.5 | |
| | いない | 398 | 15.3 | |
| | 無回答 | 81 | 3.1 | |

■テーマごとの設問と主な結果（スポーツ関連部分を抜粋）

※構成比（％）は、小数点以下第2位を四捨五入

テーマ3 スポーツについて

札幌市では、今後の体育館、プール、ウインタースポーツ施設のあり方を検討しています。そこで、皆さまのスポーツ施設の利用状況などについてお聞きし、今後のスポーツ施設の整備の参考とさせていただきます。

問10 過去1年間にスポーツを行ったか

| | |
|----------|-------|
| 「行った」 | 58.0% |
| 「行わなかった」 | 40.2% |

問11 スポーツを行う場所（複数回答）

| | |
|--------------|-------|
| 「公園、運動広場、緑地」 | 35.4% |
| 「公共スポーツ施設」 | 27.1% |
| 「自宅」 | 26.3% |
| 「民間スポーツ施設」 | 24.3% |
| 「海、山、川などの自然」 | 22.8% |

問12 過去1年間の公共体育館利用の有無（複数回答）

| | |
|----------------|-------|
| 「中央体育館」 | 2.7% |
| 「北区体育館」 | 2.3% |
| 「東区体育館」 | 2.5% |
| 「白石区体育館」 | 1.9% |
| 「厚別区体育館」 | 1.5% |
| 「豊平区体育館」 | 2.0% |
| 「清田区体育館」 | 2.1% |
| 「南区体育館」 | 1.5% |
| 「西区体育館」 | 2.9% |
| 「手稲区体育館」 | 1.9% |
| 「中島体育センター」 | 1.4% |
| 「宮の沢屋内競技場」 | 0.6% |
| 「美香保体育館（夏季のみ）」 | 0.7% |
| 「他の公共体育館」 | 4.6% |
| 「利用していない」 | 74.0% |

問13 公共体育館配置場所の満足度

| | |
|-------------------|-------|
| 「満足している」 | 6.9% |
| 「どちらかといえば満足している」 | 16.9% |
| 「どちらかといえば満足していない」 | 11.3% |
| 「満足していない」 | 9.6% |
| 「わからない」 | 53.1% |

問14 公共体育館配置数の満足度

| | |
|-------------------|-------|
| 「満足している」 | 7.3% |
| 「どちらかといえば満足している」 | 16.8% |
| 「どちらかといえば満足していない」 | 11.2% |
| 「満足していない」 | 9.6% |
| 「わからない」 | 52.9% |

問15 公共体育館に求めるもの（3つまで回答）

| | |
|--------------------|-------|
| 「地下鉄などの交通アクセスの利便性」 | 37.4% |
| 「身近にあること」 | 36.5% |
| 「利用しやすい料金設定」 | 35.4% |
| 「駐車場の広さ」 | 28.0% |
| 「利用しやすい開館時間」 | 18.8% |

問16 過去1年間の公的温水プール利用の有無（複数回答）

| | |
|-----------------------------|-------|
| 「厚別温水プール」 | 1.2% |
| 「豊平公園温水プール」 | 0.9% |
| 「平岸プール」 | 2.0% |
| 「白石温水プール」 | 0.9% |
| 「手稲曙温水プール」 | 1.3% |
| 「東温水プール」 | 1.6% |
| 「清田温水プール」 | 0.8% |
| 「西温水プール」 | 1.6% |
| 「サンシャインスポーツクラブ（中央区公的温水プール）」 | 0.6% |
| 「札幌サンブラザ（北区公的温水プール）」 | 0.8% |
| 「北海道青少年会館コンパス（南区公的温水プール）」 | 0.6% |
| 「利用していない」 | 84.7% |

問17 公的温水プール配置場所の満足度

| | |
|-------------------|-------|
| 「満足している」 | 6.6% |
| 「どちらかといえば満足している」 | 13.0% |
| 「どちらかといえば満足していない」 | 8.5% |
| 「満足していない」 | 8.1% |
| 「わからない」 | 60.3% |

問18 公的温水プール配置数の満足度

| | |
|-------------------|-------|
| 「満足している」 | 5.7% |
| 「どちらかといえば満足している」 | 13.2% |
| 「どちらかといえば満足していない」 | 8.2% |
| 「満足していない」 | 8.5% |
| 「わからない」 | 61.3% |

問19 公的温水プールに求める機能（3つまで回答）

| | |
|--------------------|-------|
| 「地下鉄などの交通アクセスの利便性」 | 30.9% |
| 「身近にあること」 | 30.2% |
| 「利用しやすい料金設定」 | 29.1% |
| 「使いやすい更衣室・シャワー設備」 | 23.7% |
| 「駐車場の広さ」 | 22.5% |

問20 過去1年間にウインタースポーツを行ったか

| | |
|----------|-------|
| 「行った」 | 15.7% |
| 「行わなかった」 | 81.9% |

調査結果の詳細は札幌市HPに掲載しています。

{http://www.city.sapporo.jp/somu/shiminokoe/citi_enq/}

(2) スポーツ関係団体等アンケート調査

■ 調査期間

平成30（2018年）年2月8日（木）～23日（金）

■ 調査対象

- (1) 札幌市体育協会加盟競技団体 53団体
- (2) 障がい者スポーツ団体 10団体
- (3) 公共スポーツ施設指定管理者・札幌市障がい者スポーツ協会 4団体

■ 調査概要

本アンケートは、上記の調査対象団体へ、これまでの団体の状況と今後の取組や考え方などについて、スポーツ推進計画の見直しの参考とすることを目的に実施した。

また、公共スポーツ施設指定管理者並びに障がい者スポーツ協会へのアンケートについては、平成29年3月にスポーツ庁より公表された「第2期スポーツ基本計画」に対して、組織の取組として重点的に実施していること、検討していることについても回答を求めた。

■ 回答状況

- (1) 回答数 49団体
 - 内訳 1 札幌市体育協会加盟競技団体 41団体
 - 2 障がい者スポーツ団体 4団体
 - 3 公共スポーツ施設指定管理者・札幌市障がい者スポーツ協会 4団体

- (2) 回答率 73.1%
 - 内訳 1 札幌市体育協会加盟競技団体 77.4%
 - 2 障がい者スポーツ団体 40.0%
 - 3 公共スポーツ施設指定管理者・札幌市障がい者スポーツ協会 100%

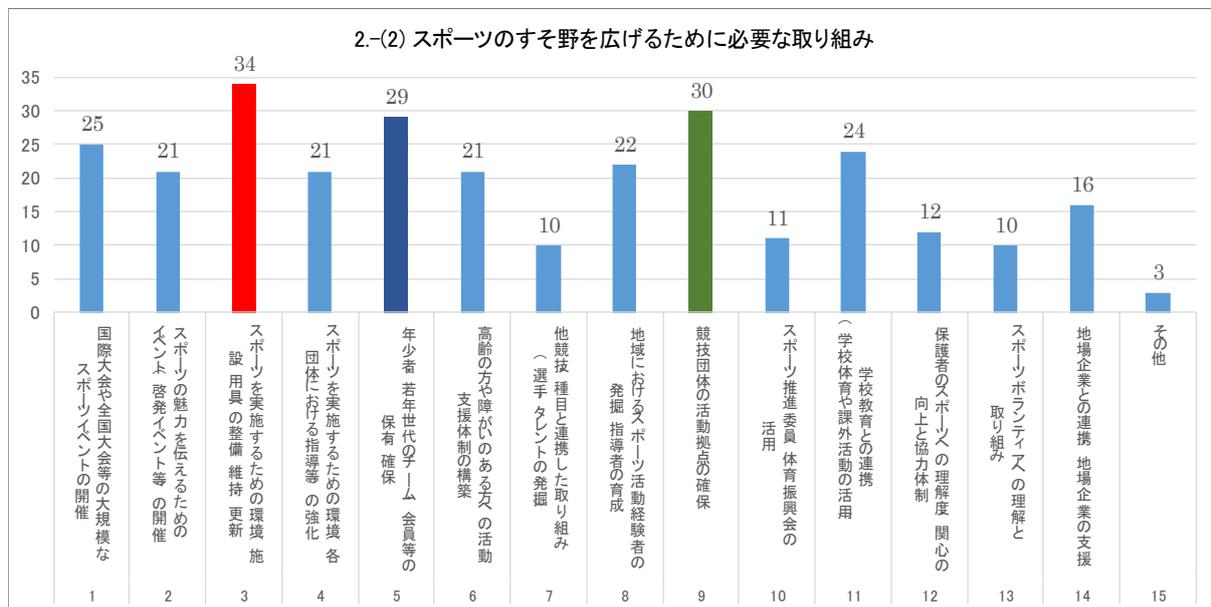
■ アンケート回答集計（施設関連設問のみ抜粋）

設問2. 「スポーツ（競技・健康維持運動）のすそ野を広げる」必要性和取り組みに関すること ※札幌市体育協会加盟競技団体他 共通設問

（2）スポーツのすそ野を広げるために必要な取り組みとして考えられることは何か（複数回答）

- 1 国際大会や全国大会等の大規模なスポーツイベントの開催
- 2 スポーツの魅力を伝えるためのイベント（啓発イベント等）の開催
- 3 **スポーツを実施するための環境（施設・用具）の整備・維持・更新**
- 4 スポーツを実施するための環境（各団体における指導等）の強化
- 5 **年少者・若年世代のチーム・会員等の保有・確保**
- 6 高齢の方や障がいのある方への活動支援体制の構築
- 7 他競技・種目と連携した取り組み（選手・タレントの発掘）
- 8 地域におけるスポーツ活動経験者の発掘・指導者の育成
- 9 **競技団体の活動拠点の確保**
- 10 スポーツ推進委員^{※42}・体育振興会^{※43}の活用
- 11 学校教育との連携（学校体育や課外活動の活用）
- 12 保護者のスポーツへの理解度・関心の向上と協力体制
- 13 スポーツボランティア^{※44}への理解と取り組み
- 14 地場企業との連携・地場企業の支援
- 15 その他

【回答：48 団体/全 67 団体 回答率：71.6% 回答数：290 件 ※未回答 1 件を含む】



※42 【スポーツ推進委員】…スポーツ基本法第 32 条に基づき、市町村教育委員会が委嘱する非常勤の職員（任期 2 年）各地域のスポーツ関係団体と連携を図り、全市及び各区スポーツ事業等の企画・運営及び指導を行うなど、地域スポーツの振興に取り組んでいる。

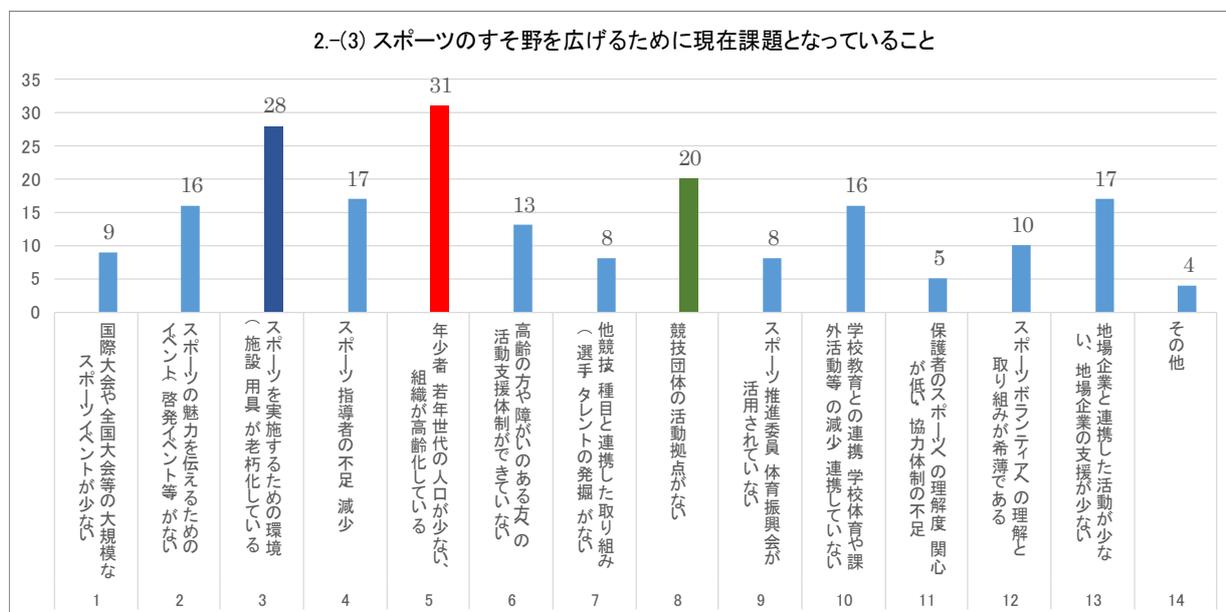
※43 【体育振興会】…地域のスポーツ振興を図ることを目的として、学校を拠点として自主運営する地域住民による組織。

※44 【スポーツボランティア】…スポーツイベントや大会の運営のほかにも、スポーツサークルやクラブチームの運営、指導者や審判、地域のスポーツ活動等のボランティアとして携わることを目指す。

(3) スポーツのすそ野を広げるために現在課題となっていることは何か（複数回答）

- 1 国際大会や全国大会等の大規模なスポーツイベントが少ない
- 2 スポーツの魅力を伝えるためのイベント（啓発イベント等）がない
- 3 **スポーツを実施するための環境（施設・用具）が老朽化している**
- 4 スポーツ指導者の不足・減少
- 5 **年少者・若年世代の人口が少ない、組織が高齢化している**
- 6 高齢の方や障がいのある方への活動支援体制ができていない
- 7 他競技・種目と連携した取り組み（選手・タレントの発掘）がない
- 8 **競技団体の活動拠点が無い**
- 9 スポーツ推進委員※42や体育振興会※43が活用されていない
- 10 学校教育（学校体育や課外活動等）の減少・連携していない
- 11 保護者のスポーツへの理解度・関心が低い・協力体制の不足
- 12 スポーツボランティア※44への取り組みが希薄である
- 13 地場企業と連携した活動が少ない、地場企業の支援が少ない
- 14 その他

【回答：49団体/全67団体 回答率：73.1% 回答数：202件】



【結果概要】

- スポーツのすそ野を広げるために必要な取り組みとして、回答の約70%が「施設・用具の整備・維持・更新」を挙げている。課題としても回答の60%弱が「施設・用具の老朽化」を挙げている。
- 現在の課題では「若年世代の人口減少・組織の高齢化」を挙げる回答が60%超と最も多い。また、必要な取り組みとしても回答の60%が「若年世代・会員の確保」を挙げている。
- 競技団体においては「活動拠点の確保」が必要としており、現在「活動拠点が無い」と回答したのは40%超となっている。

※42 【スポーツ推進委員】…スポーツ基本法第32条に基づき、市町村教育委員会が委嘱する非常勤の職員（任期2年）各地域のスポーツ関係団体と連携を図り、全市及び各区スポーツ事業等の企画・運営及び指導を行うなど、地域スポーツの振興に取り組んでいる。

※43 【体育振興会】…地域のスポーツ振興を図ることを目的として、学校を拠点として自主運営する地域住民による組織。

※44 【スポーツボランティア】…スポーツイベントや大会の運営のほかにも、スポーツサークルやクラブチームの運営、指導者や審判、地域のスポーツ活動等のボランティアとして携わることを指す。

設問7. 公共スポーツ施設等の利用状況について ※札幌市体育協会加盟競技団体への設問

1 貴団体が利用している公共スポーツ施設について、該当する番号すべてに○をつけてください。

(1) 体育館施設 (複数回答)

- 1 **中央体育館** 2 北区体育館 3 **東区体育館** 4 **白石区体育館** 5 厚別区体育館
 6 豊平区体育館 7 清田区体育館 (プール併設) 8 南区体育館
 9 **西区体育館 (プール併設)** 10 手稲区体育館
 11 **中島体育センター** 12 宮の沢屋内競技場 13 美香保体育館 (夏季)
 14 北海きたえーる (北海道立総合体育館)
 15 真駒内セキスイハイムアイスアリーナ (真駒内公園屋内競技場・夏季)
 16 **利用していない**

【回答：37 団体/全 53 団体 回答率：69.8% 回答数：163 件 ※未回答 4 件含む】

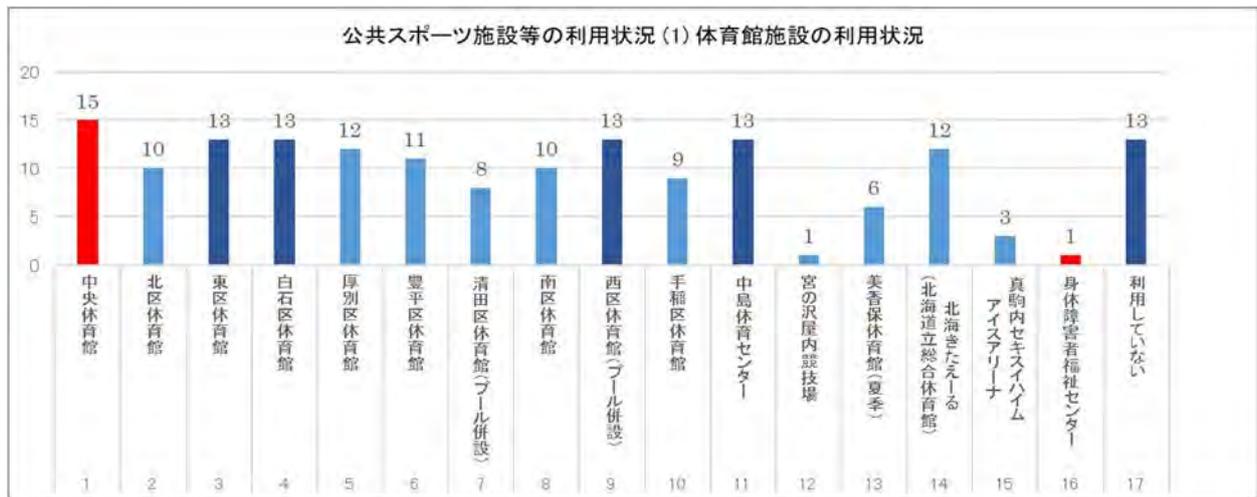
設問6. 公共スポーツ施設等の利用状況について ※障がい者スポーツ団体への設問

1 貴団体が利用している公共スポーツ施設について、該当する番号すべてに○をつけてください。

(1) 体育館施設 (複数回答)

- 1 中央体育館 2 北区体育館 3 東区体育館 4 白石区体育館 5 厚別区体育館
 6 豊平区体育館 7 清田区体育館 (プール併設) 8 南区体育館
 9 西区体育館 (プール併設) 10 手稲区体育館
 11 中島体育センター 12 宮の沢屋内競技場 13 美香保体育館 (夏季)
 14 北海きたえーる (北海道立総合体育館)
 15 真駒内セキスイハイムアイスアリーナ (真駒内公園屋内競技場・夏季)
 16 **身体障害者福祉センター**
 17 **利用していない**

【回答：4 団体/全 10 団体 回答率：40.0% 回答数：4 件】



※グラフは、両団体の回答を合計して表記

【結果概要】

- 公共スポーツ施設のうち、関係団体に最も利用されている施設は体育館である。このうち利用が多いのは「中央体育館 (37%)」、次いで「東区体育館」「白石区体育館」「西区体育館」「中島体育センター」の順となっている。
- 障がい者スポーツ団体が利用している施設は「身体障害者福祉センター」のみ (1 件) で、回答のあった残り 3 団体については公共スポーツ施設を利用していない。

設問7. 公共スポーツ施設等の利用状況について

※札幌市体育協会加盟競技団体

設問6. 公共スポーツ施設等の利用状況について

※障がい者スポーツ団体

※設問共通 ※グラフは、両団体の回答を合計して表記

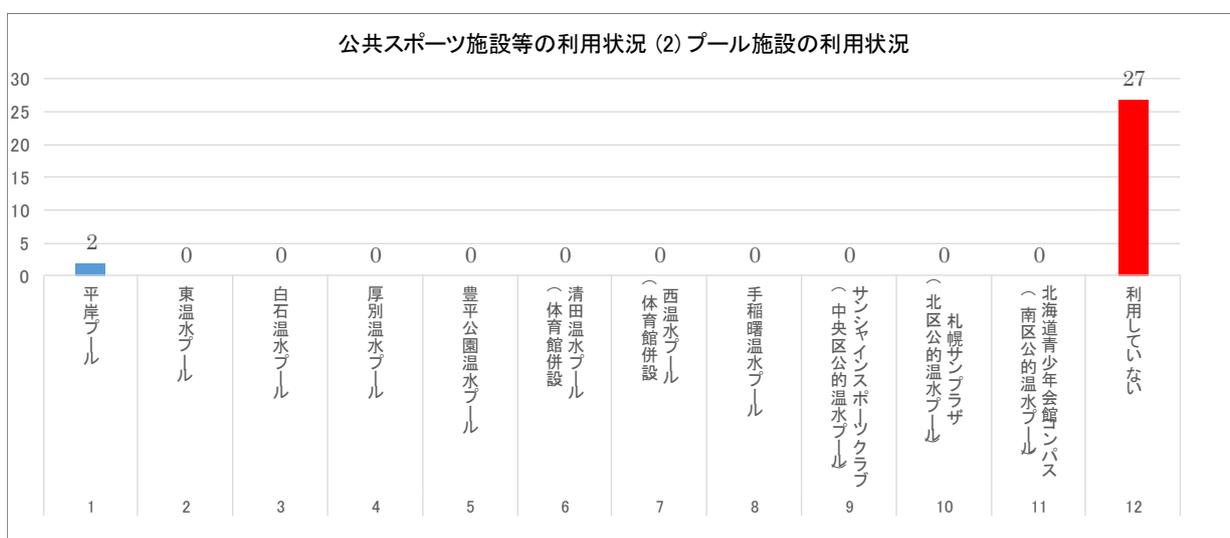
1 貴団体が利用している公共スポーツ施設について、該当する番号すべてに○をつけてください。

(2) プール施設 (複数回答)

- 1 平岸プール 2 東温水プール 3 白石温水プール 4 厚別温水プール
- 5 豊平公園温水プール 6 清田温水プール (体育館併設)
- 7 西温水プール (体育館併設) 8 手稲曙温水プール
- 9 サンシャインスポーツクラブ (中央区公的温水プール)
- 10 札幌サンプラザ (北区公的温水プール)
- 11 北海道青少年会館コンパス (南区公的温水プール)

12 利用していない

【回答：29 団体/全 63 団体 回答率：46.0% 回答数：45 件 ※未回答 16 件を含む】



(3) スケート等施設 (複数回答)

- 1 月寒体育館 2 美香保体育館 (冬季) 3 星置スケート場
- 4 どうぎんカーリングスタジアム
- 5 真駒内セキスイハイムアイスアリーナ (真駒内公園屋内競技場・冬季)
- 6 真駒内セキスイハイムスタジアム (真駒内公園屋外競技場・冬季)

7 利用していない

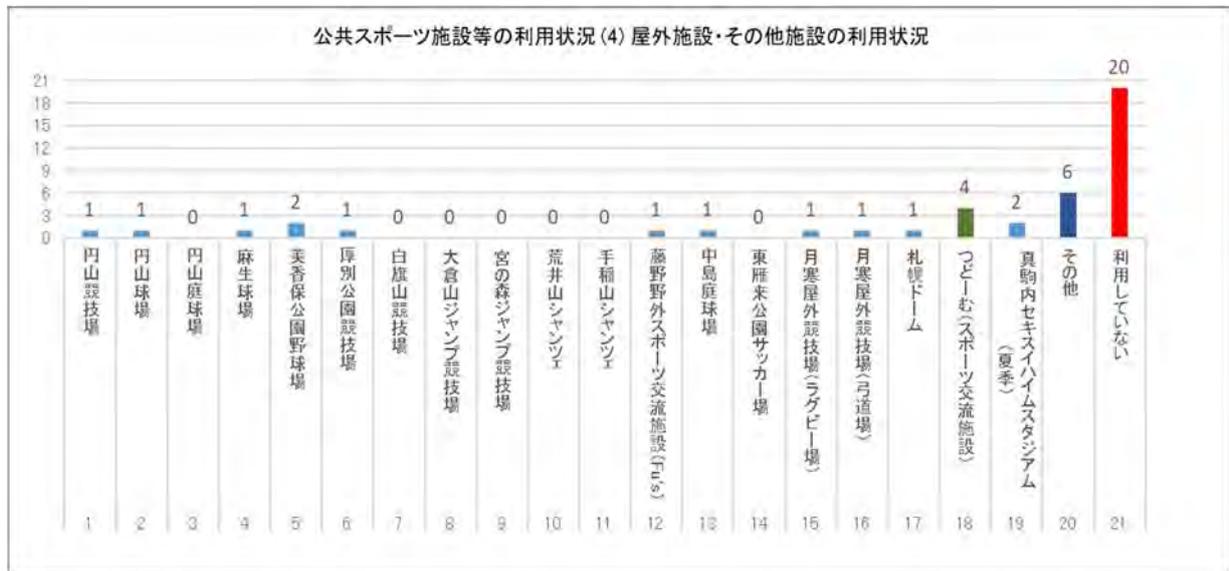
【回答：28 団体/全 63 団体 回答率：44.4% 回答数：48 件 ※未回答 17 件を含む】



(4) 屋外施設・その他（複数回答）

- 1 円山競技場 2 円山球場 3 円山庭球場 4 麻生球場
 5 美香保公園野球場 6 厚別公園競技場 7 白旗山競技場
 8 大倉山ジャンプ競技場 9 宮の森ジャンプ競技場 10 荒井山シャンツェ
 11 手稲山シャンツェ 12 藤野野外スポーツ交流施設（Fu's）
 13 中島庭球場 14 東雁来公園サッカー場
 15 月寒屋外競技場（ラグビー場） 16 月寒屋外競技場（弓道場）
 17 札幌ドーム 18 つどーむ（スポーツ交流施設）
 19 真駒内セキスイハイムスタジアム（真駒内公園屋外競技場・夏季）
 20 その他 21 **利用していない**

【回答：35 団体/全 63 団体 回答率：55.6% 回答数：53 件 ※未回答 10 件を含む】

**【結果概要】**

- プール、スケート・カーリング場、屋外施設・その他の施設は、体育館と比較すると利用している団体は限定的である。
- プールは水泳協会及びトライアスロン連合、スケート・カーリング場はアイスホッケー連盟及びカーリング協会のみが利用。
- 屋外施設については、特定競技の専用施設が多いため、他競技の団体が利用することは困難であると想定される。
- なお、「つどーむ」については多目的施設であることから、複数の団体が大会等で利用。

設問 7. 公共スポーツ施設等の利用状況について

※札幌市体育協会加盟競技団体

設問 6. 公共スポーツ施設等の利用状況について

※障がい者スポーツ団体

※設問共通 ※グラフは両団体の回答を合計して表記

2 貴団体が利用している公共施設（スポーツ施設以外）について、該当する番号すべてに○をつけるか、施設名をご記入ください。

(1) 健康づくり施設（複数回答）

- 1 中央健康づくりセンター 2 東健康づくりセンター 3 西健康づくりセンター

4 **利用していない**

【回答：33 団体/全 63 団体 回答率：52.4% 回答数：45 件 ※未回答 12 件を含む】

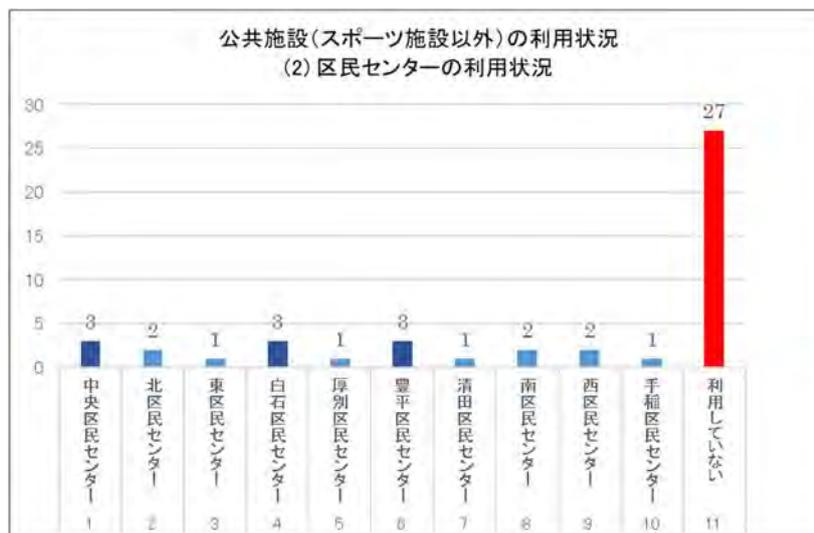


(2) 区民センター（複数回答）

- 1 **中央区民センター** 2 北区民センター 3 東区民センター 4 **白石区民センター**
 5 厚別区民センター 6 **豊平区民センター** 7 清田区民センター
 8 南区民センター 9 西区民センター 10 手稲区民センター

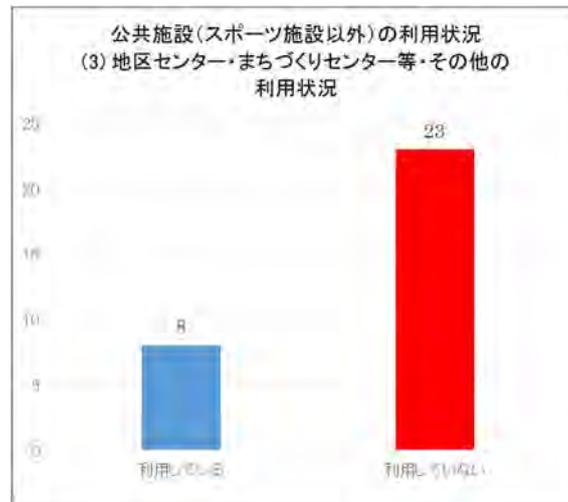
11 **利用していない**

【回答 29 団体/全 63 団体 回答率：46.1% 回答数：57 件 ※未回答 11 件を含む】



(3) 地区センター・まちづくりセンター等・その他（複数記述回答）

【利用団体数：8 団体 未利用団体：23 団体】

**【結果概要】**

- トレーニング機能を持つ健康づくりセンターについて、当アンケートに回答した団体は、利用していない状況。
- 区民センターについては、ごく一部の団体が利用しているに留まっており、ほぼ利用されていない状況。
- 地区センター・まちづくりセンターについても、一部の団体が利用しているに留まっている状況。

設問7. 公共スポーツ施設等の利用状況について ※札幌市体育協会加盟競技団体

2 貴団体が利用している公共施設（スポーツ施設以外）について、該当する番号すべてに○をつけるか、施設名をご記入ください。

(4) 学校開放校（センター管理校・自主管理校）

1 利用している 2 **利用していない**

【回答 35 団体/全 53 団体 回答率：66.0% 回答数：41 件 ※未回答 11 件を含む】



設問6. 公共スポーツ施設等の利用状況について ※障がい者スポーツ団体

2 貴団体が利用している公共施設（スポーツ施設以外）について、該当する番号すべてに○をつけるか、施設名をご記入ください。

(4) 学校開放校（みなみの杜高等支援学校・センター管理校・自主管理校） ※複数記述回答

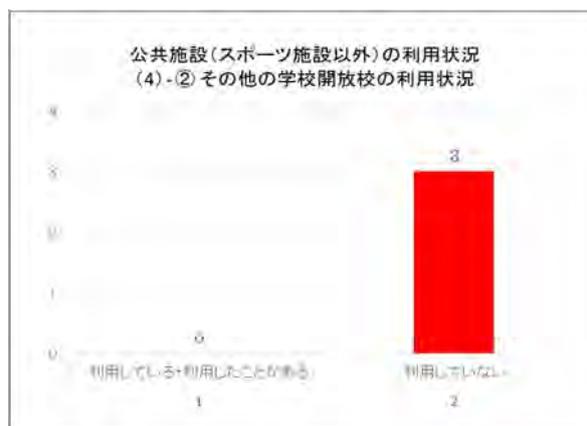
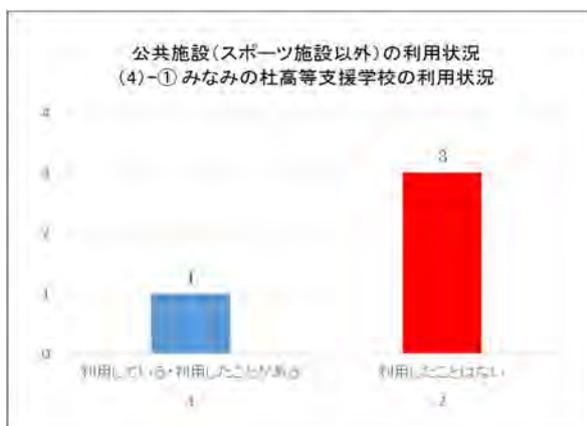
①市立みなみの杜高等支援学校について

1 利用している・利用したことがある 2 **利用したことはない**

②その他の学校開放について

1 利用している・利用したことがある 2 **利用していない**

【回答 4 団体/全 10 団体 回答率：40% 回答数：4 件 ※(4)-②において未回答 1 件を含む】



【結果概要】

- 学校開放は、競技団体としてではなく、団体に加盟する各クラブ等により利用されているものと想定される。
- 障がい者スポーツ団体については、ほぼ学校開放を利用していない。平成 29 年度より供用を開始した『みなみの杜高等支援学校』も、利用は1団体のみ。
- 障がい者スポーツ団体による学校開放利用は、用具・器具の準備やフロア、バリアフリー対応などに、課題があると想定される。

設問 8. 利用施設に関すること ※札幌市体育協会加盟競技団体

設問 7. 利用施設に関すること ※障がい者スポーツ団体

※設問共通 ※グラフは両団体の回答を合計して表記

貴団体が公共スポーツ施設に求めることについて、該当する番号すべてに○をつけてください。
(複数回答)

1 地下鉄などの交通アクセスの利便性

2 駐車場の拡充

3 利用しやすい開館時間

4 大人数を収容できる観客席

5 競技室・体育室・格技室の拡充

6 競技大会が開催できる規格・機能（放送等）

7 バリアフリー※²⁴（トイレ等を含む）

8 高齢の方・障がいのある方向けの競技スペース

9 使いやすい更衣室・シャワー設備

10 食堂や売店などの飲食設備

11 ゆとりある休憩スペース

12 高度なトレーニング機能

13 託児機能（スペース等）

14 利用しやすい料金設定

15 札幌市内の施設数の維持

16 多目的室（会議室等）の広さ・機能の充実

17 その他

【回答：41 団体/全 63 団体 回答率：65.1% 回答数：273 件 ※未回答 4 件含む】



【結果概要】

- 競技団体が公共スポーツ施設に求めること（機能）については、「駐車場の拡充」を挙げる回答が 90% 弱（うち障がい者スポーツ団体の回答は 100%）と最も多い。
- 「地下鉄などの交通アクセスの利便性」を挙げる回答も 70%あり、全体として『交通アクセス』に関する機能充実を求める声が多。
- 『交通アクセス』に続いて回答が多かったのは「競技大会が開催できる規格・機能（放送等）」（65%）。
- 上記のほか、札幌市協加盟競技団体からの回答として多かったのは「利用しやすい料金設定」（60%超）となっている。

※²⁴【バリアフリー】…高齢者や障がいのある方などが、社会生活をしていく上で障壁となるものを除去すること。道路や建物等だけでなく、社会的、制度的、心理的なものを含めた全ての障がいを無くすことを意味している。

設問9. 民間施設、企業等が保有する施設の利用について

※札幌市体育協会加盟競技団体

設問8. 民間施設、企業等が保有する施設の利用について

※障がい者スポーツ団体

※設問共通 ※グラフは両団体の回答を合計して表記

1 貴団体が利用している民間施設（スポーツクラブ・企業・大学の体育館等）について、利用している施設名をご記入ください。（複数記述回答）

【回答記入団体数：15 団体/全 63 団体】

【回答のあった利用している会場】

■ 高校の施設

山の手高等学校、立命館慶祥中学校・高等学校体育館、札幌東豊高等学校道場・体育館

■ 大学の施設

北海道科学大学体育館、北海道科学大学クライミングボード、天使大学中沼グラウンド、札幌学院大学、札幌国際大学、北海道東海大学、北海道大学

■ 多目的スペース（施設）

N T T セミナーセンター、札幌市商工会議所グラウンド

■ 専用スペース（施設）

秀岳荘クライミングボード（ウォール）、浦臼国際散弾銃射撃場、ときわぎ会館レスリング道場、太陽G少年野球場、自衛隊施設、銭函ヨットハーバー、厚別パークボウル、総合レジャーサンコーボウル、サッポロオリンピックボウル

■ スポーツクラブ

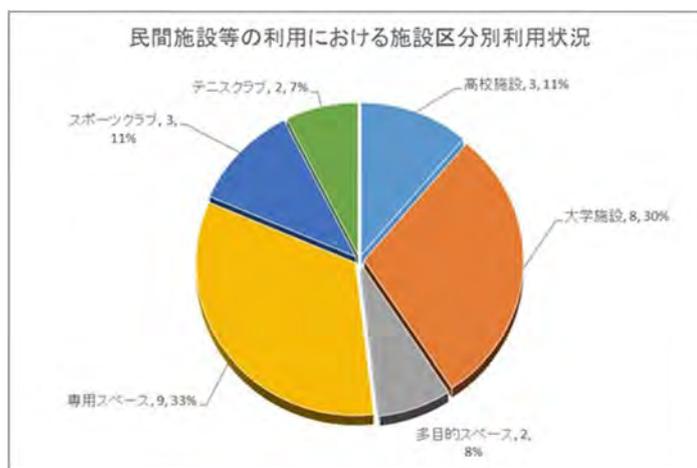
スポーツクラブ ZIP、KONAMI、イーアス

■ テニスクラブ

あけぼのテニスクラブ、スウィング 89

【区分別】

| | | |
|---------|----|-------|
| 高校施設 | 3 | 11.1% |
| 大学施設 | 8 | 29.6% |
| 多目的スペース | 2 | 7.4% |
| 専用スペース | 9 | 33.3% |
| スポーツクラブ | 3 | 11.1% |
| テニスクラブ | 2 | 7.4% |
| 合計 | 27 | |



【結果概要】

○民間施設を利用していると回答したのは 15 団体。公共スポーツ施設にはない専用競技施設や、大学施設を利用しているケースが多い。

設問9. 民間施設、企業等が保有する施設の利用について

※札幌市体育協会加盟競技団体

設問8. 民間施設、企業等が保有する施設の利用について

※障がい者スポーツ団体

※設問共通 ※グラフは両団体の回答を合計して表記

2 (現在民間施設の利用がない団体もご回答ください)

貴団体が今後、民間施設を利用する、または利用する可能性を検討する際の利用条件等についてお聞きします。該当する番号すべてに○をつけてください。(複数記述回答)

1 地下鉄など交通アクセスの利便性

2 駐車場の広さ

3 利用しやすい開館時間

4 大人数を収容できる観客席

5 競技を行う部屋の広さ

6 競技大会が開催できる規格・機能(放送等)

7 バリアフリー※24 (トイレ等を含む)

8 高齢の方・障がいのある方向けの競技スペース

9 使いやすい更衣室・シャワー設備

10 食堂や売店などの飲食設備

11 ゆとりある休憩スペース

12 高度なトレーニング機能

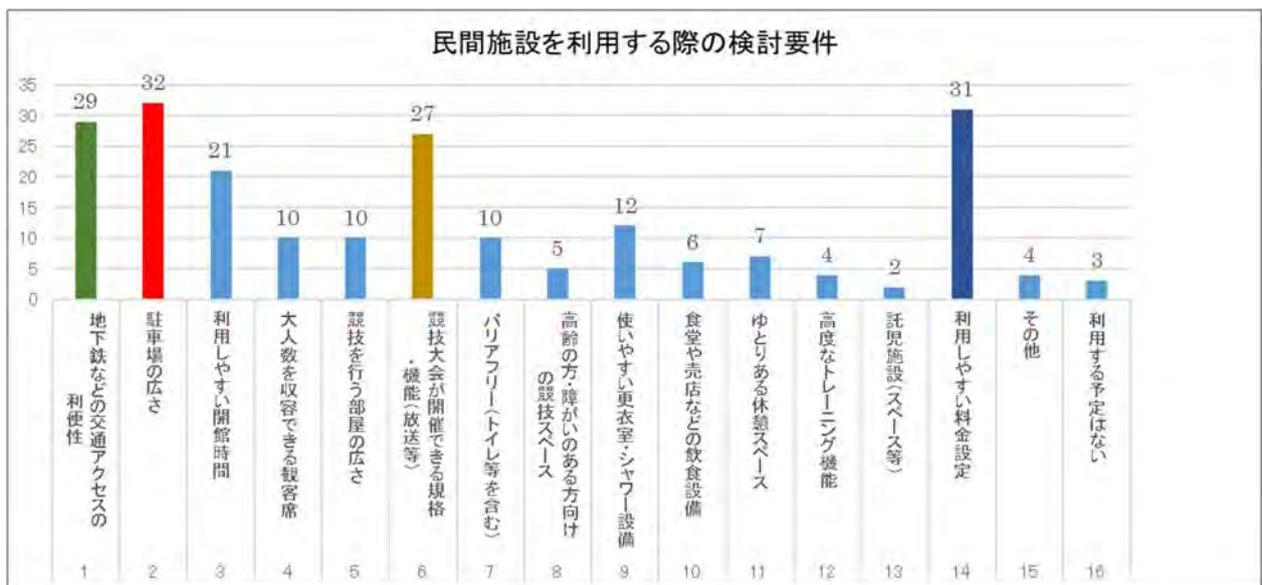
13 託児機能(スペース等)

14 利用しやすい料金設定

15 その他

16 利用する予定はない

【回答：43団体/全63団体 回答率：68.3% 回答数：215件 ※未回答2件を含む】



【結果概要】

- 各競技団体が、今後民間施設を利用する、または利用の可能性を検討するにあたっては、公共スポーツ施設と同様、「駐車場の広さ」(駐車場の確保)を条件として挙げた回答が70%超と多くなっている。また、「地下鉄などの交通アクセスの利便性」を挙げている回答も70%弱ある。
- 「利用しやすい料金」を挙げる回答も70%超と多い。
- 各競技団体の回答から、優先順位に若干の違いはあるものの、基本的に公共スポーツ施設と民間施設に求めている内容は同様の傾向。

※24 【バリアフリー】…高齢者や障がいのある方などが、社会生活をしていく上で障壁となるものを除去すること。道路や建物等だけでなく、社会的、制度的、心理的なものを含めた全ての障がいを無くすことを意味している。

設問 10. 公共スポーツ施設の維持・保全について
 設問 9. 公共スポーツ施設の維持・保全について
 設問 7. 公共スポーツ施設の維持・保全について

※札幌市体育協会加盟競技団体
 ※障がい者スポーツ団体
 ※指定管理者

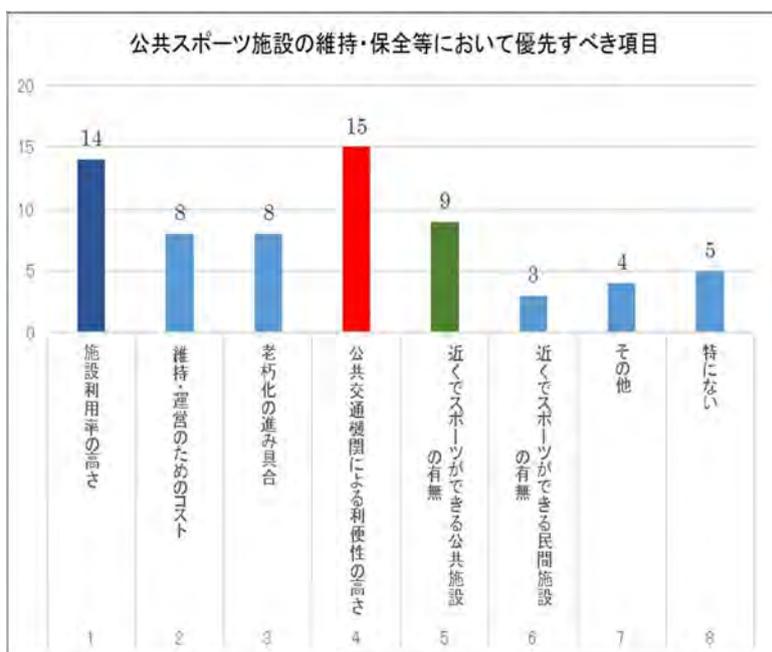
※設問共通 ※グラフは全回答を合計して表記

札幌市の公共スポーツ施設は近い将来一斉に建物の更新時期を迎えることになり、これらに必要となる費用の増大が見込まれています。このことを踏まえ、これからも市民がスポーツに親しめる環境を維持していくために、札幌市の公共スポーツ施設についてどのようなことを優先して整備していくか、貴団体の考えに最も近い番号に1つだけ○をつけてください。(単数回答)

- 1 施設の利用率の高さ
- 2 維持・運営のためのコスト
- 3 老朽化の進み具合
- 4 公共交通機関による利便性の高さ
- 5 近くでスポーツができる公共施設の有無
- 6 近くでスポーツができる民間施設の有無
- 7 その他
- 8 特にない

【回答：45 団体/全 67 団体 回答率：67.1% 回答数：70 件

※一部団体（11 団体）が複数回答、未回答 4 件を含む】



【結果概要】

- 将来に向けた公共スポーツ施設の維持・保全に関して、「公共交通機関による利便性の高さ」を優先して整備すべきとの回答が全体の 33%を占めた。
- 次点は「施設の利用率の高さ」で回答全体の 30%、3 位は「近くでスポーツができる公共施設の有無」で 20%となっている。
- 現在、民間施設を活用（利用）している団体は、公共施設の維持・保全への関心は高くなく、「特にない」「未回答」となっている。
- その他の回答として、札幌市障がい者スポーツ協会より「障がい者スポーツ専用施設の設置」が挙げられている。

(3) 市民ワークショップ（これからの私たちとスポーツを考えるワークショップ）

■実施日時

平成30（2018年）年7月22日（日） 14：00～17：00

■会場

札幌市中央区北2条西7丁目 北海道立道民活動センターかでの2・7（710会議室）

■参加人数

34人（うち、札幌市立高校生から13人）

■ワークショップ実施の目的

札幌市スポーツ推進計画の改定版策定にあたり、市民の運動・スポーツ活動などに関するニーズや課題を聴取し、計画内容に市民意見を反映することを目的とする。

■実施手法

無作為に抽出した18歳以上の市民3,000人に募集チラシを郵送し、参加を希望された方21人と、札幌市立高校生から募集し参加を希望した13人を合わせた34人で実施しました。

また、参加者を5～6人のグループに分け、大テーマ1、大テーマ2について意見交換を行い、結果を小テーマごとにとりまとめました。

【大テーマ1】「広く市民がスポーツに親しむために必要なこと」

＜小テーマ＞

- | | |
|-----------------|-------|
| ①「健康」 | ×スポーツ |
| ②「仕事・家事・子育て・介護」 | ×スポーツ |
| ③「学び・教育・学校」 | ×スポーツ |
| ④「多様性・共生」 | ×スポーツ |
| ⑤「地域や経済の活性化」 | ×スポーツ |
| ⑥「冬」 | ×スポーツ |

【大テーマ2】「広く市民がスポーツに親しむために必要な施設や場所」

＜小テーマ＞

- ①公共スポーツ施設がどんな場所や利用環境にあると利用したいか。
- ②公共スポーツ施設以外でスポーツを行う場所として、どんなところが利用できるとよいか。



■ワークショップの結果（大テーマ2のみ抜粋）

【大テーマ2】「広く市民がスポーツに親しむために必要な施設や場所」

小テーマ1：公共スポーツ施設がどんな場所や利用環境にあると利用したいか。

- 施設配置については、地下鉄やJRの駅などから行きやすい場所のほか、買い物などほかの目的と合わせて利用できる利便性の高い場所が望まれている。
- 料金の引き下げを望む声が多い。単純な引き下げだけではなく、条件つきやイベント要素をもたせたアイデアもみられる。
- そのほか利用環境については、利用時間の拡張、運動器具類の利便性向上、施設利用者の調整、ルールの順守、一人でも利用しやすい工夫、スポーツ教室やイベントの充実、託児などが望まれている。
- 施設の利用方法や利用状況について、わかりやすい情報提供を求める声が見られる。

| 項目 | 内容 |
|------------|---|
| 施設配置 | <ul style="list-style-type: none"> ・駅（バス、地下鉄、JRなど）や学校の近くにあると使いやすい。 ・地下鉄から離れたところに立地している場合、送迎バスがあると良い。 ・まちなかなど、交通の便利な場所にあると良い。 ・サイクリングロードの近くにあると良い。 ・ショッピングモールやスーパー、百貨店と併設または隣接していると家族連れは利用しやすい。 ・大学の構内にあると良い。 ・1区に1つではなく、もう少し増やしてほしい（施設に近い人とそうでない人とで不公平に感じる。 など |
| 駐車場／駐輪場 | <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場が充実していると良い。 ・駐輪場が広くなってほしい。 など |
| 利用料金 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用料金がもう少し安くなると良い。 ・温水プールの一般料金が高い。 ・高校生も無料にしてほしい（中学生は無料だったが、高校生は有料になったので、利用しにくくなった）。 ・複数人で利用すると安くなるなど、料金の割引があると他の人を誘って利用しやすい。 ・曜日によって対象となる属性の人が無料で利用できる、イベント要素のある制度があるとよい。 ・公共施設の民営化を進め、より安く、より使いやすくなると良い。 など |
| 利用時間 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用時間帯を拡張してほしい。 ・仕事をしている人も利用しやすい時間帯（早朝、夜間）に開放してほしい。 ・予約なしでも利用できる施設があると良い。 など |
| 用具・器具類、設備等 | <ul style="list-style-type: none"> ・用具貸出しをしてほしい。 ・備品レンタルを安くしてほしい。 ・古くなっている器具もあるので、定期的リニューアルしてほしい。 ・靴置き場がない施設があるので、設置してほしい。 |

| 項目 | 内容 |
|--------|---|
| ルール等 | <ul style="list-style-type: none"> 白石区の施設は専用の靴が必要で面倒だった。どんな靴でも利用できると良い。 親切的な係員を配置し、利用規則の見直しをしてほしい（以前、プール利用の際に眼鏡着用について注意された際に代替案の提示もなく不可とされた）。 体育館で、利用時間が決められていてもオーバーして利用している人もいるため、ルールを徹底してほしい。 など |
| 利用者調整 | <ul style="list-style-type: none"> 一定数以上は団体扱いとし、一般開放時の占有を解消してほしい。 利用する競技によっては、他区からの利用者も多く集まるため、調整が必要である。 年齢で利用が分かれていると使いやすい。 など |
| 単独利用 | <ul style="list-style-type: none"> グループで行うスポーツ以外では利用しにくく、特定のスポーツには入りにくい。 一人で行っても一緒にスポーツする人がいない。一人で行って気軽に楽しめる環境づくりが必要である（一緒にスポーツできる人をコーディネートする人がいるなど）。 など |
| スポーツ教室 | <ul style="list-style-type: none"> 初心者向けのスポーツ教室が開かれると良い。 子ども（小学生以下）が通える教室を充実させてほしい。 教室の振替制度があると良い（現状、祭日が休館日に重なると利用できる回数が減ってしまう）。 など |
| 託児など | <ul style="list-style-type: none"> 託児や遊ばせられるキッズスペースがあると良い。 |
| イベント等 | <ul style="list-style-type: none"> 公園で行われる子ども向けイベントを充実させてほしい。 みんなで楽しめるイベントがあると良い。 など |
| 情報 | <ul style="list-style-type: none"> 利用可能曜日や時間、利用方法などわかりやすい情報提供が必要である（現状は個別施設ごとにホームページを見る必要がある）。 空き状況、混雑状況などの情報が得られるとよい。 どこの施設でどんなスポーツができるのか、わかりやすい方法で情報提供してほしい。 障がいがある子どもに水泳を教えてくれる教室を知りたいが情報が少ないので情報提供してほしい。 など |

小テーマ2：公共スポーツ施設以外でスポーツを行う場所として、どんなところが利用できるとよいか。

- 既存のスポーツ施設ほか、ショッピングセンターなどの店舗や各種施設のスペース等を活用するアイデアがみられる。
- 屋外については、公園利用を希望している人が多くみられる。

| 項目 | 内容 |
|-----------|--|
| 既存のスポーツ施設 | <ul style="list-style-type: none"> ・冬期間、ゴルフ場を歩くスキーに利用したい（実際にある）。 ・民間スポーツ施設の利用料や整備費を補助し、利用を促進してはどうか。 ・24時間利用できる民間スポーツ施設 など |
| 店舗等 | <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットカフェ（ビリヤードや卓球ができる） ・スタジオやカフェでイベントの開催（親子で行う体操等） ・大型ショッピングセンターの通路（混雑時を避け、ウォーキング等ができるとうい）→歩数をポイント化し、店舗で特典を受けられるとうい。 ・百貨店 ・営業終了後の店舗駐車場 など |
| その他施設 | <ul style="list-style-type: none"> ・町内会館 ・児童会館 ・地区センターでのスポーツ利用を充実させてほしい ・小・中学校の運動場 ・学校の一般開放を個人でも利用できるようにしてほしい（現状はクラブチームの利用が多い） ・市内にある専門学校のプール（夏期休暇中） ・リハビリ施設（機材や場所を活用し、一般の人でも利用できるとよい） ・市役所やマンション等の会議室 ・ビルの屋上 ・ホテルの宴会場 ・温泉施設（運動後に温泉が利用できてよい） など |
| 屋外 | <ul style="list-style-type: none"> ・公園の自由度を高めて利用したい（現状はボールの使用やソリ遊びなど禁止事項が多い）。 ・あまり利用されていない公園を再整備してはどうか。 ・大きめの公園や空き地 ・河川敷、豊平川 ・冬期の駐輪場 ・歩道（散歩用） ・歩行者天国 ・サイクリングロードをもっと増やしてほしい。 など |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・個人のレッスン教室（高齢なので、サポートを受けて運動できる環境が望ましい） ・家の中 ・スポーツできる場所について、回覧板等で情報共有できるとよい。 など |

(4) パブリックコメント

■意見募集期間

令和3年（2021年）3月11日（木）～4月9日（金）

■意見提出方法

郵送、FAX、電子メール、持参

■資料の配布、閲覧場所

- ・スポーツ局スポーツ部施設計画担当課（北2西1 ORE札幌ビル9階）
- ・札幌市役所本庁舎2階 市政刊行物コーナー
- ・各区役所 総務企画課広聴係
- ・各まちづくりセンター
- ・札幌市内の市有体育施設
- ・札幌市ホームページ

■意見提出者数、意見数

- ・意見提出者数：21人
- ・意見数：43件

■意見の内訳

- ・年代別内訳

| | 19歳以下 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70歳以上 | 不明 |
|----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|----|
| 人数 | 0 | 1 | 1 | 4 | 4 | 7 | 2 | 2 |
| 件数 | 0 | 1 | 5 | 4 | 8 | 18 | 3 | 4 |

- ・居住地別内訳

| | 市内 | | | | | | | | | | 市外 | 不明 |
|----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|----|----|
| | 中央区 | 北区 | 東区 | 白石区 | 厚別区 | 豊平区 | 清田区 | 南区 | 西区 | 手稲区 | | |
| 人数 | 8 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 0 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 件数 | 15 | 2 | 1 | 2 | 2 | 6 | 0 | 8 | 1 | 3 | 1 | 2 |

- ・提出方法別内訳

| | 郵送 | FAX | 電子メール | 持参 |
|----|----|-----|-------|----|
| 人数 | 3 | 5 | 13 | 0 |
| 件数 | 5 | 15 | 23 | 0 |

■意見の概要と札幌市の考え方

・序章「方針の策定にあたって」

| No. | 意見の概要 | 札幌市の考え方 |
|-----|---|--|
| 1 | 「体力に応じたスポーツ活動」とはどのような内容か。北海道の健康寿命は全国平均より低いが、リハビリや健康運動等がセーフティーネットと考える。その時どのようなスポーツを提案しようと考えているのか。 | 体力に応じたスポーツ活動について、例えばウォーキングなどは、幅広い世代の方がそれぞれの体力に応じて気軽に行うことができ、健康寿命延伸にもつながるものとして期待されます。札幌市では、こうしたスポーツの魅力発信などに取り組んでいます。 |
| 2 | 冬季五輪は前回1972年の時と比べ競技種目数が激増し、開催費が掛かり過ぎる。温暖化による雪不足や感染症等の蔓延により開催中止や無観客となった場合、首都圏の10分の1の経済規模でしかない札幌圏は大打撃を受け、市民への重い負担を強い事に成る。冬季五輪の招致は断念すべき。 【関連意見4件】 | 国際オリンピック委員会（IOC）は、開催地に対しコンパクトな大会を実現することにより、可能な限り経費を縮減するよう求めており、札幌市においても、既存施設を最大限活用し、大会開催のための新たな施設は造りません。 また、ご指摘いただきました雪不足や感染症の蔓延などの不測の事態に臨機応変に対応するため、東京2020大会での取組状況や他の国際大会での準備状況を踏まえ、2030年冬季オリンピック・パラリンピック大会計画を検討してまいります。 |
| 3 | 冬季五輪は2030年ではなく2034年の招致を目指すべき。「新幹線・新函館北斗—札幌間」の開業は2031年3月。札幌中心部の再開発も、新幹線札幌延伸を目指しており、それら社会的生産基盤が整ってから五輪を催すほうが「おもてなし」の精神にも叶う。 | 現在札幌では、1972年のオリンピックを契機として整備された社会基盤や競技施設の老朽化が進んでおり、更新時期を迎えています。 また、超高齢社会の到来に対応した、全ての人にやさしいまちづくりも求められています。 冬季オリンピック・パラリンピックの開催には、社会基盤や競技施設の更新のほか、バリアフリーの促進といったまちのリニューアルを加速していく効果があるものと考えており、2030年大会の招致を目指しているところです。 |

・第1章「基本理念と目標」

| No. | 意見の概要 | 札幌市の考え方 |
|-----|---|---|
| 4 | 過去に前例のない超高齢社会、少子化が進む中、新しい施設の発想・新しい運動が必要だが、多様性のあるスポーツ環境の実現をどのように考えているか。 | 本方針では、特色のあるスポーツ施設の整備に加え、学校・公園や民間施設など様々な施設を活用し、それぞれの施設機能に応じた役割を担っていくことで、市全体として、多様性の確保と施設の効率化を図り、人口減少・超高齢社会が進む中でも持続可能な施設環境を整えていくこととしています。 また、時代の変化に伴う新たなニーズ等について、対応の必要性を検討のうえ、確保していくこととしています。 |
| 5 | 「多様性のあるスポーツ環境の実現」に向けては、市所管スポーツ施設の分業化特色化が必要。高齢者の健康づくり・リハビリや、コロナ禍でより安心安全を望む方に少人数でのスポーツ環境を提供するなど、施設毎に違うメニューを作成し、特色づくりを行うことが必要ではないか。 | 市所管スポーツ施設ではこれまでも、施設の特性を活かし、施設ごとに工夫をしながら教室等を実施しており、今後も施設ごとに特色あるメニューづくりに努めていきます。 施設機能については、施設毎に特色ある整備を進めることで、市全体として多様性のあるスポーツ環境を確保していくこととしています。 |
| 6 | バリアフリーなど弱者目線での検討をお願いしたい。プール槽にスロープを設置することで、障がい者なども自由に入水退水ができ、不便さから解放される。施設の機能向上とは、リハビリにも対応できるようにすることか。水中運動は、脳梗塞者の身体機能や、腰痛、むち打ち症等の改善なども期待される。 | 本方針14～15ページの「機能向上」とは、利便性の高い場所への立地や利用時間の拡大など、効率的・効果的な施設整備・運営により、各施設の整備効果を高めることを意味しています。 なお、バリアフリーなどについては、多様性のあるスポーツ施設環境の実現に向けて、本方針32ページ「取組4 共生社会を実現するスポーツ環境の充実」に基づき検討していきます。 |
| 7 | 多目的に利用できるスポーツ施設があることでスポーツ人口が増えるのではないか。スポーツを通して得られる学びをもっと沢山の子供たちが体験し、スポーツが社会に還元・貢献できる可能性を広げていける場が必要。 | 人口減少や超高齢社会が進展していくなかで、誰もがスポーツに親しめる機会を確保していくためには、効率的・効果的な施設配置を進めていくことが必要となることから、複合化や多目的化などにより、多機能な施設整備を検討することとしています。 また、本方針31ページでは、子ども達がスポーツに参画する機会確保にあたり、市所管スポーツ施設をスポーツクラブなどが活用できる仕組みを検討することとしています。 |

| No. | 意見の概要 | 札幌市の考え方 |
|-----|--|--|
| 8 | 多目的に利用できるスポーツ施設があることで、現在、限られている昼間のスクール実施場所になれば、スポーツ選手がセカンドキャリア（指導者）を考えるきっかけにもなる。 | オリンピック経験者などのアスリートが加入する人材バンクが複数組織されており、現在、こうした団体と連携し、運動部活動やスポーツ体験会等に指導者を派遣しております。今後もこれらの団体との連携を継続していきたいと考えております。 また、市所管スポーツ施設においても、トップアスリートが講師となる教室等を行っており、今後もスポーツ選手との更なる連携に取り組んでいきます。 |

・第2章「基本的な取組」

| No. | 意見の概要 | 札幌市の考え方 |
|-----|--|---|
| 9 | スポーツ施設の再編、再配置に賛成。ただし、実行にあたっては、地域の人口増減の状況や、市民意見、環境、交通利便性等を十分に考慮して頂きたい。 | スポーツ施設の再編・再配置にあたっては、地域の状況や市民意見、利用者の利便性確保など、様々な観点から検討を行っていきます。 |
| 10 | 住んでいる場所によって、不公平が大きいので是正してほしい。市民が平等に使えるよう施設配置を考えてほしい。 | スポーツ施設の再編・再配置にあたっては、主要な地下鉄駅周辺等の交通利便性の高い場所に配置するなど、利用者の利便性確保を念頭に検討していきます。 |
| 11 | 芸術やスポーツの施設は都心の近くに置くべき。 ①東区苗穂に在る『北海道旅客鉄道』の工場を移転し『札幌ドーム』に代わる大型スポーツ施設を集約、②市街地の大規模公園にアマチュアの地方大会にも使える野球場（硬式）や蹴球場を置くのが理想。「モエレ沼公園内野球場の改修」には賛成しかねる。平日に仕事を終えた後、その足で通う事が大方の市民にとっては無理。 | 本方針では、効率的・効果的な施設環境の実現に向け、交通利便性の高い場所などへの施設の配置・集約を進めることとし、土地利用の再編が伴うようなまちづくりの動きと連携して検討を行うこととしています。なお、屋外競技施設については、施設が大規模であることや駐車場の確保などから、広大な敷地が必要となり、また、観客席を設ける場合は、騒音や道路交通など周辺への影響を考慮することも必要です。モエレ沼公園の野球場改修（硬式対応）については、観客席など円山球場等を補完する機能を備えることが必要と考えており、様々な観点から検討した結果、他に適した場所がないことから、当公園の改修を進めていくこととしています。 |

| No. | 意見の概要 | 札幌市の考え方 |
|-----|--|---|
| 12 | 児童会館や区民センターのホールなど多少狭くてもスポーツを行える施設の活用・運用の見直しを考えてほしい。 | 児童会館の多目的ホールや区民センターなどは、現在も施設本来の目的に支障のない範囲でスポーツの場として利用可能ですが、本方針25ページ「②コミュニティ施設」のとおり、今後、これら施設のさらなる有効活用に向けた方法について、検討を進めていきます。 |
| 13 | 子どもの競技力向上は必要ない。小中高校生はメダル獲得マシンでは無い。 【関連意見2件】 | スポーツとは、一部の競技選手や運動に自信のある人だけのものではなく、それぞれの適性や志向に応じて、自由に楽しむことができる、みんなのものであります。 そのなかで、トップアスリートになることを目指している子ども達をサポートすることも必要と考えております。 |
| 14 | 障がい者や高齢者と、学生や若者とでは、利用場所の環境が異なるのではないか。新型コロナウイルス対策など衛生的な分野も視野に入れた環境設定、用途に合わせた環境設定が求められるのではないか。 | スポーツ施設の新設・更新や保全改修の際には、バリアフリー対策やユニバーサルデザインの導入をはじめ、すべての人が分け隔てなく楽しむことができるスポーツ環境の充実を図ってまいります。 また、新型コロナウイルス対策については、感染状況を鑑み、利用人数制限などの必要な対策を講じてまいります。 |
| 15 | 冷涼な札幌で、様々な競技のプロ・大学・高校等の夏合宿を招致。①スポーツ施設の貸し切りを保証。②市内の宿泊施設を確保。③東京五輪のマラソンコースを体験していただく。④スキージャンプの恐怖感を体験していただく など。 | スポーツ合宿の実施は、市民がスポーツへの関心を高める機会となるとともに、札幌の魅力発信などに大きく寄与するものと考えております。 企業や大学向けの合宿に係る需要調査の結果を基に、合宿誘致について検討してまいります。 なお、本方針34ページ「取組5 経済・まちの活性化に貢献するスポーツ環境の充実」では、こうしたスポーツが持つ力を発揮できる、施設の機能維持、強化を進めていくこととしています。 |

| No. | 意見の概要 | 札幌市の考え方 |
|-----|--|--|
| 16 | 道外の中学校・高等学校の札幌市内修学旅行生にカーリング体験を企画・発信し、実際に体験していただくことで、カーリング競技の認知度・関心度を高める。 | 本市では札幌カーリング協会と連携し、カーリング競技の普及に取り組んでおります。 道外の修学旅行生に向けたカーリング体験会の実施については、市有カーリング施設の定員等の諸課題を踏まえ、頂いたご意見を参考に検討いたします。 |

・第3章「各施設における取組」

| No. | 意見の概要 | 札幌市の考え方 |
|-----|--|---|
| 17 | 月寒ラグビー場は、本来の多目的競技場として、ラグビー以外の屋外球技（サッカー、アメリカンフットボール、ラクロス等）で使用できるようにすべき。ラグビー専用競技場のままとするのであれば、近年、競技人口の増加が著しいラクロス、フラグフットボール及びアメリカンフットボールの試合が行える競技場（観客席あり、人工芝）を整備すべき。 【関連意見5件】 | 月寒ラグビー場については、競技の特性上、芝生の消耗が激しいことから、芝生養生期間確保のためラグビー専用施設として運用を行っているところですが、今後、市民ニーズを踏まえながら、施設管理に支障のない範囲での多目的利用の可能性を検討してまいります。 |
| 18 | 月寒ラグビー場は、改修し存続させる。改修にあたっては管理のしやすい人工芝の導入を検討すべき。 | 月寒ラグビー場の改修については、施設の更新の際に、他競技のニーズなどを踏まえ、多目的化も含め必要な機能について検討してまいります。 |
| 19 | 冬季期間にフルピッチで練習できるサッカー場があると、強化に繋がる。北海道のサッカーの向上を考えると必須。 | 施設の整備・維持にあたっては、経営資源が限られたなか、必要性などを踏まえ検討を行います。いただいたご意見については、今後の検討の参考にさせていただきます。 |
| 20 | 厚別競技場サブグラウンドの夜間使用が出来ること、グラウンド確保に困っているクラブが助かる。 | 厚別公園補助競技場の夜間使用については、現在、指定管理者において簡易な夜間照明を設置しており、19時30分までの利用が可能ですが、今後も利用者のニーズを踏まえ検討してまいります。 |

| No. | 意見の概要 | 札幌市の考え方 |
|-----|--|---|
| 21 | <p>気軽に使えるサッカー場（ラグビー場）は少ない。少年サッカーやフットサル程度の小さい物でも良いので、大きな公園で空いている場所等に作れませんか？</p> | <p>現在、東雁来公園を除く、大きな公園のサッカー場（モエレ沼公園、前田森林公園等）の利用率は土日で概ね50%前後となっていることから、新たな施設整備の予定はありません。</p> <p>なお、地域の公園にある少年野球場（多目的広場）は、サッカーの利用も可能です。他に利用される方と譲り合ってご利用ください。</p> |
| 22 | <p>藤野リージュコースは、老朽化が著しく再整備が必要。札幌市は2030年の冬期オリンピックに立候補を表明し、ソリ競技は長野の利用を計画しているが、長野はオリンピック終了後のコース存続が不透明。この様なことから、オリンピック開催都市になる札幌市として、藤野リージュコースをソリ競技を開催できるコースとして再整備し、ソリ競技を通して、青少年の健全なる育成を図り、冬季スポーツの発展を図ることを強く要望する。</p> <p>【関連意見4件】</p> | <p>2030冬季オリンピック・パラリンピック大会計画におけるソリ競技会場は、IOCより既存施設の活用を推奨されたことなどを受けて、国内で唯一国際大会の開催経験がある長野スパイラルを使用する予定としています。</p> <p>現状の藤野リージュコースについては、毎年継続して経年劣化等による不具合箇所の修繕を実施しており、今後も必要な機能を維持してまいります。</p> |
| 23 | <p>藤野リージュコースの再整備に向けて、維持管理については、競技団体とも協議を進め、いかに経費を軽減できるかをしっかりと研究すべき。</p> | |
| 24 | <p>藤野リージュコースは、スキー場と併設なので専用の職員は不要であり、コースの除雪などは、選手が協同して手伝え、再整備をしたとしても維持管理費が低額で済み市民の理解も得られると思う。</p> | |
| 25 | <p>藤野リージュコースについて、長野のように人工凍結でないコースであれば、再整備をしたとしても建設費も維持費も長野の1/10位に抑えられるのではないか。また、国のナショナルトレーニングセンターに認定されれば、補助を受けられるのではないか。</p> | |
| 26 | <p>近年地球温暖化により、氷と雪を活用し造成するリージュ競技場はコース造成と維持管理が難しくなっているため、藤野リージュコースの人工凍結コースへの改修を検討してはどうか。オリンピックで使用するフルスペックの施設ではなく、短距離（600m）のコースであれば建設費等を抑えられ、ソリ競技の選手強化の足掛かりとして全国の選手の利用が可能となる。一般者が体験できる機会を設けることで収益も得られる。</p> | |

| No. | 意見の概要 | 札幌市の考え方 |
|-----|--|--|
| 27 | 札幌ドームの使用料が高すぎる。特にアマチュアスポーツ団体や市民団体が利用したくても使用できない。札幌市は、もっとガバナンスを発揮して、札幌ドーム㈱の経費を削減し、使用料の軽減を図り、プロのみならず特にアマチュア団体や市民団体の利活用の拡大につなげてほしい。 【関連意見3件】 | 札幌ドームは、内外の優れたスポーツ、展示会その他催物の開催の場を提供すること等により、スポーツの普及振興及び市民文化の向上並びに地域経済の活性化のために設置した施設です。 アマチュア利用については、これまでも市民が札幌ドームを気軽に利用できるよう指定管理者と連携をしながら低廉な金額で利用できる取組を行っており、今後も、市民利用促進やにぎわい創出につながる取組を検討してまいります。 |
| 28 | 札幌ドームは、今後、プロ野球のフランチャイズでなくなれば、アマチュアスポーツ団体の利用拡大を目指すべき。そのためには、申し込みの公平性（現状ではプロ興行等が優先）を図るとともに使用料や付帯費用を軽減し、アマチュアスポーツ団体が全国的な大会等を誘致したり、有観客試合を開催しやすいようにすべき。 | |
| 29 | 経過年数が古い美香保公園野球場、中島公園庭球場、宮の森ジャンプ競技場及び藤野リユージュ競技場は今後10年の対策に入れるべきではないか。 | 本方針の第3章では、施設種別毎に基本的な考え方を「配置活用方針」として整理し、そのうえで緊急性が高く、かつ、経常的ではない特別に必要な対応を「概ね10年間の取組事項」に記載しています。ご指摘の内容については、施設種別毎の「配置活用方針」の中で、経常的な対応となる「計画的な維持修繕等」を行うこととしています。 |

・特定の部分に該当しないもの

| No. | 意見の概要 | 札幌市の考え方 |
|-----|--|--|
| 30 | 「スポーツ」とは競技スポーツだけを考えているのか。競技スポーツではない誰にでもできる運動は、スポーツ施設から排除なのか、それとも共存できるのか？ | スポーツとは、競技だけではなく、散歩やジョギングなどの軽い運動、レクリエーション活動なども含むものです。こうした幅広いスポーツ活動のなかで、誰もができる運動であっても、スポーツ施設でなければ実施できない場合もあると考えられ、排除するものではありません。 |

| No. | 意見の概要 | 札幌市の考え方 |
|-----|--|---|
| 31 | 市内小中学校の授業で積極的にスポーツ施設を活用してもらいたい。例えば、札幌ドームのサッカー場設営に係る裏方の緻密で正確かつ素早い作業の様子を子供たちに見学してもらいたい。 | 施設見学については、キャリア教育の一環として現地学習等で活用することが考えられます。また、地域の資源を有効に活用する観点から、各学校でスポーツ施設を利用した学習計画を位置付けることも有効であると考えます。スポーツ施設としても授業における施設見学等の際には、学校と連携しながら内容等を検討してまいります。 |
| 32 | 体育館のファミリー開放という時間帯で、色々種目があるのは良いのかもしれないが、一つ一つの競技スペースがせまく、その中で幅広い年齢層の方々がプレーしていた。“密になる時もある”のもあるが、接触による怪我なども不安。 | スポーツ施設における一般開放については、新型コロナウイルス感染症対策として、利用人数の制限等を行っており、今後も、感染状況に応じた必要な対策を講じてまいります。 |
| 33 | 基本理念の説明に「市民の誰もが、それぞれの適性などの違いに応じてスポーツに参画できる施設環境を目指す」とある。化学物質過敏症の市民が、周りの利用者が使用している香料製品によって吐き気、呼吸苦をおこしてしまい、スポーツに参画できずに苦しんでいるため、利用時間及び利用諸室を物理的に分けてほしい。 | 香料などのおいにより様々な症状に苦しんでいる方がいるという事象については、札幌市ホームページや施設のポスター掲示等を通じて「香りのエチケット」に関する普及啓発を行っているところです。今後も国や他自治体の動向などを注視してまいります。 |
| 34 | 現在、小中学生の施設利用料は無料だが、健全な施設運営等を考えると有料にすべき。また、小中学生は、本来の施設目的ではないゲーム機やスマホによる長時間利用や、陸上競技場等では多くの小中学生が高校生以上の練習の妨げになっている場面を度々見かける。この状況の改善に向けても、小中学生を有料にすべき。 | 札幌市では、若い世代のスポーツ実施率を高めていくことが課題と認識しており、体育館やプールなどの利用料金を無料としています。いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。 |
| 35 | 日ハムの市外への流出はスポーツ局の責任であり、冬季五輪の招致も絶望的なので、職員数を半減して福祉部門に配置転換すべき。 | 北海道日本ハムファイターズの本拠地移転は、人工芝の野球場でサッカー場でもある札幌ドームと、天然芝の野球専用球場を求める球団の、それぞれの施設の役割・機能の違いによるものと認識しております。また、スポーツ局の職員体制については、適切な体制となるよう努めてまいります。 |

- ・その他 ※参考意見として、趣旨のみ掲載します。

| No. | 意見の概要 |
|-----|--|
| 36 | 学校のプールを廃止し市営プールで授業を行うのは良い。夏の短い間だけしか使えないプールを学校単位につくるのは、とても無駄。 |
| 37 | 令和7年の新中央区複合庁舎完成後、現中央区民センター跡地が気軽に市民活動ができる施設になることを希望する。 |

■実施方針（案）の修正

- ・ No.30のご意見を踏まえ、巻頭に「スポーツ」の定義を挿入しました。

Ⅲ. 施設情報一覧表

【用語説明及び凡例】

※ア 避難場所指定

・指定緊急避難場所

災害から身を守るため緊急的に避難する施設又は場所である。災害の種類ごと（洪水災害、土砂災害、地震災害、大規模な火事）に指定している。

・指定避難所

災害の危険がなくなるまで一定期間滞在し、又は災害により自宅へ戻れなくなった被災者等が一時的に滞在する施設又は場所である。

滞在スペースを有する指定緊急避難場所は、指定避難所（基幹）を兼ねている。

※イ 主構造

SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造

R C：鉄筋コンクリート造

S：鉄骨造

W：木造

※ウ 特定天井

- ・日常的に人が利用する場所にある吊り天井で、天井の高さ6m超、面積200m²超、天井材の質量2kg/m²超で、脱落によって重大な危害を生ずるおそれがあるもの

※エ 耐震性

◎：新耐震基準

○：旧耐震基準による建築物。耐震診断の結果、耐震改修の必要性無し

改修済：旧耐震基準による建築物。

耐震診断の結果、耐震改修の必要性有りであり、改修済み

－：建築物なし

(1) 【体育館、屋内競技場等】

| 施設名称 | 区 | 所在 | 運営形態 | 供用開始年度 | 竣工年度 | 経過年数 2020年度時点 | 施設 | | | | |
|------|---|----|------|--------|------|------------------|------|-----|-----|---------|-----------|
| | | | | | | | 主要機能 | 体育室 | 格技室 | トレーニング室 | トレーニングデッキ |

体育館 (10)

| | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|----|------------------|----------|------|------|----|---|------|------|------|------|------------|
| 中央体育館 (北ガスアリーナ 札幌46) | 中央 | 中央区北4条 東6丁目 | 指定 管理 | 2019 | 2019 | 1 | ●競技室：2,612㎡ ・バドミントン：16面 ・バスケットボール・テニス：3面 | — | — | 149㎡ | — | 1周 250m |
| 北区体育館 | 北 | 北区新琴似 8条2丁目 | 指定 管理 | 1982 | 1982 | 38 | ●競技室：1,464㎡ ・バドミントン：8面 ・バスケットボール・テニス：2面 | 430㎡ | 218㎡ | 152㎡ | 205㎡ | — |
| 東区体育館 | 東 | 東区北27条 東14丁目 | 指定 管理 | 1981 | 1981 | 39 | ●競技室：1,505㎡ ・バドミントン：8面 ・バスケットボール・テニス：2面 | 457㎡ | 289㎡ | 202㎡ | 215㎡ | — |
| 白石区体育館 | 白石 | 白石区南郷通 6丁目北 | 指定 管理 | 1985 | 1985 | 35 | ●競技室：1,450㎡ ・バドミントン：8面 ・バスケットボール・テニス：2面 | 425㎡ | 235㎡ | 150㎡ | 225㎡ | 1周 144m |
| 厚別区体育館 | 厚別 | 厚別区厚別中央 2条5丁目 | 指定 管理 | 1980 | 1980 | 40 | ●競技室：1,408㎡ ・バドミントン：8面 ・バスケットボール・テニス：2面 | 370㎡ | 245㎡ | 162㎡ | 251㎡ | 1周 155m |
| 豊平区体育館 | 豊平 | 豊平区月寒東 2条20丁目 | 指定 管理 | 1984 | 1984 | 36 | ●競技室：1,885㎡ ・バドミントン：12面 ・バスケットボール・テニス：2面 ・ハンドボール：1面 | 473㎡ | 253㎡ | 201㎡ | 212㎡ | 1周 160m |
| 清田区体育館 | 清田 | 清田区平岡 1条5丁目 | 指定 管理 | 1997 | 1997 | 23 | ●競技室：1,483㎡ ・バドミントン：8面 ・バスケットボール・テニス：2面 | 435㎡ | 270㎡ | 229㎡ | 140㎡ | 1周 140m |
| 南区体育館 | 南 | 南区川沿 4条2丁目 | 指定 管理 | 1983 | 1983 | 37 | ●競技室：1,514㎡ ・ミニバレー・バドミントン：8面 ・ソフトバレーボール：4面 ・バレー・テニス：2面 ・バスケットボール：1面 | 451㎡ | 287㎡ | 142㎡ | 237㎡ | 1周 140m |
| 西区体育館 | 西 | 西区発寒 5条8丁目 | 指定 管理 | 1986 | 1986 | 34 | ●競技室：1,409㎡ ・バドミントン：8面 ・バスケットボール・テニス：2面 | 454㎡ | 294㎡ | 147㎡ | — | 1周 140m |
| 手稲区体育館 | 手稲 | 手稲区曙 2条1丁目 | 指定 管理 | 1980 | 1980 | 40 | ●競技室：1,373㎡ ・バドミントン：8面 ・バスケットボール・テニス：2面 | 435㎡ | 248㎡ | 168㎡ | 233㎡ | — |

屋内競技場等 (4)

| | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|----|-----------------|----------|------|------|----|--|------|------|------|---|---|
| 中島体育センター | 中央 | 中央区中島公園 1番5号 | 指定 管理 | 2000 | 1979 | 41 | ●体育室：480㎡ ・バドミントン：3面 ・テニス・バレー・フットサル：1面 | 398㎡ | 398㎡ | 304㎡ | — | — |
| 宮の沢屋内競技場 | 西 | 西区宮の沢 490番地 | 指定 管理 | 1987 | 1987 | 33 | ●ライフル射撃場：2,822㎡ ・スモールポアライフル26射座 ・テニス：3面 | — | — | — | — | — |
| 月寒体育館 | 豊平 | 豊平区月寒東 1条8丁目 | 指定 管理 | 1972 | 1971 | 49 | ●スケートリンク：30m×60m | — | — | — | — | — |
| 美香保体育館 ・夏季：体育館 ・冬季：スケートリンク | 東 | 東区北22条 東5丁目 | 指定 管理 | 1971 | 1971 | 49 | ●多目的体育館：30m×60m (夏季：体育館、冬季：スケートリンク) ・バドミントン：9面 ・バスケットボール・テニス：3面 ・バレーボール：2面 | — | — | — | — | — |

| 機能 | | | | その他設備 | | 防災 | | 利用期間 | 利用時間 (一般開放) (専用利用) |
|-----------------------|------|--|-----|-------|-----|--------------|--------|------|--------------------------|
| 幼児 遊戯室 (ア・レベルム) | 多目的室 | | その他 | エレベータ | 観客席 | 避難場所指定 ※ア | 避難可能人員 | | |

| | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|---|---|---|--|---------------------------------------|-------|----|----------------|
| — | 69㎡ | 69㎡ | — | ●相撲室：227㎡ ●ホクシング室：278㎡ ●剣道室：230㎡ ●武道室：232㎡ ●柔道室：225㎡ ●弓道室：528㎡ ●アーチェリー室：301㎡ ●ウエイトリフティング室：77㎡ | ○ | 2,504席 ・固定席：1,356席 ・車いす席：22席 ・同伴者席：22席 ・可動席：1,104席 | 指定緊急避難場所 兼 指定避難所（基幹） 【洪水-地震】 | 1,649 | 通年 | 9:00～ 21:00 |
| 65㎡ | 60㎡ | 45㎡ | — | ●ボクシング室：218㎡ | ○ | — | 指定緊急避難場所 兼 指定避難所（基幹） 【洪水-地震】 | 1,144 | 通年 | 9:00～ 21:00 |
| 36㎡ | 67㎡ | 57㎡ | — | ●弓道・アーチェリー | ○ | — | 指定緊急避難場所 兼 指定避難所（基幹） 【洪水-地震】 | 1,177 | 通年 | 9:00～ 21:00 |
| 70㎡ | 70㎡ | — | — | ●小体育室：161㎡ (ダンスバー・鏡) | — | — | 指定緊急避難場所 兼 指定避難所（基幹） 【洪水-地震】 | 1,125 | 通年 | 9:00～ 21:00 |
| 52㎡ | 62㎡ | — | — | | — | — | 指定緊急避難場所 兼 指定避難所（基幹） 【洪水-土砂-地震】 | 1,068 | 通年 | 9:00～ 21:00 |
| 65㎡ | 97㎡ | — | — | ●ハンドボール ●軟式野球場：中堅65m-右58m-左67m | — | — | 指定緊急避難場所 兼 指定避難所（基幹） 【洪水-土砂-地震】 | 1,397 | 通年 | 9:00～ 21:00 |
| 206㎡ | 75㎡ | — | — | ●第2体育室：225㎡ (ダンスバー・鏡) | — | — | 指定緊急避難場所 兼 指定避難所（基幹） 【洪水-土砂-地震】 | 1,330 | 通年 | 9:00～ 21:00 |
| 70㎡ | 62㎡ | 33㎡ | — | ●体操競技機器 | — | — | 指定緊急避難場所 兼 指定避難所（基幹） 【洪水-土砂-地震】 | 1,192 | 通年 | 9:00～ 21:00 |
| 45㎡ | 62㎡ | 73㎡ | — | ●弓道場：503㎡ ●重量拳室：286㎡ | — | — | 指定緊急避難場所 兼 指定避難所（基幹） 【洪水-土砂-地震】 | 1,120 | 通年 | 9:00～ 21:00 |
| 61㎡ | 62㎡ | 60㎡ | — | — | — | — | 指定緊急避難場所 兼 指定避難所（基幹） 【洪水-土砂-地震】 | 1,089 | 通年 | 9:00～ 21:00 |

| | | | | | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----------------------------|---|----------------------------------|---|---|----|---|
| — | — | — | — | ●講堂：244㎡ | — | — | — | — | 通年 | 9:00～ 21:00 |
| — | 91㎡ | — | — | ●空気銃射撃場：706㎡ ・エアライフル26射座 | — | — | — | — | 通年 | 9:00～ 21:00 |
| — | 94㎡ | 38㎡ | 38㎡ | ●ホワイエ（卓球） | — | 2,321席 | — | — | 通年 | ・ホワイエ(卓球場) 9:00～21:00 ・スケート 10:00～21:00 |
| — | 84㎡ | 48㎡ | 47㎡ | | ○ | 1271席 ・固定席：1,264席 ・車いす席：7席 | — | — | 通年 | ・体育室(6/1～9/30) 9:00～21:00 ・スケート(11/1～4/30) 10:00～21:00 |

(1) 【体育館、屋内競技場等】

| 施設名称 | 土地 | | 主建物 | | | | 建設事業費 | |
|------|----------|-------|----------|--------|---------|--------|------------|-------|
| | 土地面積 (㎡) | 駐車場台数 | 延床面積 (㎡) | 主構造 ※イ | 特定天井 ※ウ | 耐震性 ※エ | 総建設費 (建設時) | うち用地費 |

体育館 (10)

| | | | | | | | | |
|------------------------|--------|----------------|--------|---------|--------|-----|--------------|-------------|
| 中央体育館 (北ガスアリーナ札幌46) | 15,060 | 100 | 14,612 | SRC | 無 | ◎ | 10,500,000千円 | 1,735,000千円 |
| 北区体育館 | 7,354 | 夏 110 冬 90 | 4,652 | RC/S | 無 | ◎ | 1,506,479千円 | 331,846千円 |
| 東区体育館 | 7,757 | 夏 100 冬 80 | 4,379 | SRC | 有脱落対策済 | ○ | 1,482,631千円 | 337,463千円 |
| 白石区体育館 | 8,058 | 夏 70 冬 50 | 4,831 | SRC | 無 | ◎ | 2,399,777千円 | 1,208,771千円 |
| 厚別区体育館 | 4,700 | 夏 50 冬 40 | 4,751 | SRC | 無 | 改修済 | 1,209,522千円 | 259,910千円 |
| 豊平区体育館 | 13,697 | 夏 100 冬 90 | 5,504 | SRC /RC | 無 | ◎ | 1,886,867千円 | 490,364千円 |
| 清田区体育館 | 14,840 | 夏 140 冬 80 | 4,638 | RC/S | 有脱落対策済 | ◎ | 4,783,500千円 | 1,886,321千円 |
| 南区体育館 | 9,800 | 夏 110 冬 70 | 4,877 | SRC | 無 | ◎ | 1,706,260千円 | 352,801千円 |
| 西区体育館 | 15,798 | 夏 150 冬 120 | 5,161 | RC/S | 無 | ◎ | 1,516,941千円 | 385,402千円 |
| 手稲区体育館 | 7,721 | 100 | 4,432 | SRC /RC | 無 | ○ | 1,164,918千円 | 193,058千円 |

屋内競技場等 (4)

| | | | | | | | | |
|-----------------------------------|--------|----------------|-------|------|---------------------|-----|-----------|-----|
| 中島体育センター | 5,310 | 60 | 4,659 | RC | 無 | 改修済 | 22,188千円 | 0千円 |
| 宮の沢屋内競技場 | 5,999 | 70 | 4,588 | S/RC | 無 | ◎ | 495,071千円 | 0千円 |
| 月寒体育館 | 48,166 | 夏 150 冬 100 | 9,780 | SRC | 無 | 改修済 | 979,582千円 | 0千円 |
| 美香保体育館 ・夏季：体育館 ・冬季：ｽｶｰﾄﾞﾘﾝｸ | 10,330 | 85 | 6,655 | RC | 有 2025年度 工事予定 | 改修済 | 685,248千円 | 0千円 |

| 建設費 (用地費除く) | 利用状況 | | | | | 利用種目(上位5つ):平成29年度実績 ※平成30年度の北海道胆振東部地震及び、令和元年度に発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響を考慮し、平成29年度の利用実績を記載 |
|----------------|---------------|---------------|---------------|------------------|-------------------------------|---|
| | 延利用者数 | | | | 床面積 あたり 利用者数 [H31実績] | |
| | H28 (2016) | H29 (2017) | H30 (2018) | H31・R元 (2019) | | |
| 8,765,000千円 | — | — | — | 224,210 | 15.3 | ※平成30年度(2019年度)供用開始のため、平成29年度(2018年度)の利用実績なし |
| 1,174,633千円 | 202,100 | 216,731 | 212,886 | 188,662 | 40.6 | 卓球:46,603、トレーニング:42,132、 バドミントン:34,649、格技系開放:9,044、 バスケット:8,912 |
| 1,145,168千円 | 158,816 | 160,397 | 146,104 | 134,629 | 30.7 | 卓球:28,702、バドミントン:27,852、 トレーニング:23,863、バスケット:11,640、 剣道:7,137 |
| 1,191,006千円 | 181,672 | 106,242 | 178,094 | 164,006 | 33.9 | トレーニング:22,249、卓球:17,810、 バドミントン:13,629、ランニング:4,671、 バスケット:4,375 |
| 949,612千円 | 169,987 | 170,167 | 162,558 | 151,430 | 31.9 | バドミントン:33,389、卓球:31,048、 トレーニング:17,770、バスケット:11,135、 ヨガ:7,679 |
| 1,396,503千円 | 142,840 | 152,119 | 74,415 | 122,979 | 22.3 | バドミントン:29,907、卓球:21,726、 バドミントン:15,935、トレーニング:12,161、 フットサル:10,774 |
| 2,897,179千円 | 172,567 | 180,803 | 161,141 | 155,586 | 33.5 | トレーニング:41,239、卓球:28,674、 バドミントン:19,722、バスケット:9,376、 テニス:9,079 |
| 1,353,459千円 | 87,561 | 148,570 | 143,305 | 132,945 | 27.3 | トレーニング:24,346、卓球:23,493、 バドミントン:21,172、 その他フットサル:10,213、フットサル:7,794 |
| 1,131,539千円 | 211,902 | 207,886 | 208,931 | 183,970 | 35.6 | トレーニング:35,545、卓球:32,834、 バドミントン:26,410、ランニング:13,708、 バスケット:10,548 |
| 971,860千円 | 164,709 | 165,168 | 158,475 | 137,987 | 31.1 | 卓球:40,503、バドミントン:19,957、 トレーニング:19,790、その他フットサル:12,923 バスケット:8,994 |
| 22,188千円 | 123,908 | 131,799 | 127,489 | 117,277 | 25.2 | トレーニング:38,350、卓球:22,446、 会議:10,852、格技系開放:9,295、 その他フットサル:8,788 |
| 495,071千円 | 21,010 | 44,491 | 44,567 | 40,213 | 8.8 | テニス:26,928、射撃:2,381、 フットサル:9,052、野球:920、その他:724 |
| 979,582千円 | 145,318 | 128,999 | 128,248 | 113,530 | 11.6 | スケート:40,488、卓球:33,282、 アイスホッケー:31,138、フライングバスケット:7,729、 ヨガ:2,398 |
| 685,248千円 | 84,721 | 82,747 | 89,799 | 77,976 | 11.7 | スケート:32,876、卓球:12,907、 フライングバスケット:5,221、バドミントン:4,942、 バレーボール:4,330 |

(2) 【温水プール、スケート場、カーリング場】

| 施設名称 | 区 | 所在 | 運営形態 | 供用開始年度 | 竣工年度 | 経過年数 2020年度時点 | 施設機能 |
|------|---|----|------|--------|------|------------------|------|
| | | | | | | | 主要機能 |

温水プール (8)

| | | | | | | | |
|-----------|----|--------------|------|------|------|----|--|
| 東温水プール | 東 | 東区北16条東16丁目 | 指定管理 | 1996 | 1996 | 24 | <ul style="list-style-type: none"> ●大人用：25m×15m、深さ1.20～1.30m ●子供用：15m×8m、深さ0.70～0.80m ●ウォーター 슬라이ダー：高低差2.8m |
| 白石温水プール | 白石 | 白石区平和通1丁目南 | 指定管理 | 1992 | 1992 | 28 | <ul style="list-style-type: none"> ●大人用：25m×15m、深さ1.20～1.30m ●子供用：15m×8m、深さ0.70～0.80m |
| 厚別温水プール | 厚別 | 厚別区厚別中央2条6丁目 | 指定管理 | 2004 | 2004 | 16 | <ul style="list-style-type: none"> ●大人用：25m×15m、深さ1.20～1.30m ●子供用：15m×8m、深さ0.80m ●多目的：15m×6m、深さ1.00m |
| 豊平公園温水プール | 豊平 | 豊平区美園6条1丁目 | 指定管理 | 1983 | 1983 | 37 | <ul style="list-style-type: none"> ●大人用：25m×15m、深さ1.10～1.30m ●子供用：15m×8m、深さ0.50～0.65m |
| 清田温水プール | 清田 | 清田区平岡1条5丁目 | 指定管理 | 1997 | 1997 | 23 | <ul style="list-style-type: none"> ●大人用：25m×15m、深さ1.20～1.30m ●子供用：15m×9m、深さ0.75～0.80m |
| 西温水プール | 西 | 西区発寒5条8丁目 | 指定管理 | 1999 | 1999 | 21 | <ul style="list-style-type: none"> ●大人用：25m×15m、深さ1.20～1.30m ●子供用：15m×7.25m、深さ0.70～0.80m ●ウォーター スライダー：全長20m |
| 手稲曙温水プール | 手稲 | 手稲区曙2条1丁目 | 指定管理 | 1994 | 1994 | 26 | <ul style="list-style-type: none"> ●大人用：25m×15m、深さ1.20～1.30m ●子供用：15m×8m、深さ0.70～0.80m |
| 平岸プール | 豊平 | 豊平区平岸5条14丁目 | 指定管理 | 1989 | 1989 | 31 | <ul style="list-style-type: none"> ●50mプール：50m×25m、深さ0～3.00m(可変床)、長水路9㌢入、短水路18㌢入 ●25mプール：25m×13m、深さ0～1.20m(可変床)、短水路6㌢入 |

スケート場 (3)、カーリング場 (1)

| | | | | | | | |
|----------------------------------|----|-------------|------|------|------|----|---|
| 月寒体育館 | 豊平 | 豊平区月寒東1条8丁目 | 指定管理 | 1972 | 1971 | 49 | <ul style="list-style-type: none"> ●スケートリンク：30m×60m ●ホワイエ (卓球) |
| 美香保体育館 ・冬季：スケートリンク ・夏季：体育館 | 東 | 東区北22条東5丁目 | 指定管理 | 1971 | 1971 | 49 | <ul style="list-style-type: none"> ●多目的体育館：30m×60m (夏季：体育館, 冬季：スケートリンク) |
| 星置スケート場 | 手稲 | 手稲区星置2条1丁目 | 指定管理 | 1985 | 1985 | 35 | <ul style="list-style-type: none"> ●スケートリンク：30m×60m |
| カーリング場 (どうぎんカーリングスタジアム) | 豊平 | 豊平区月寒東1条9丁目 | 指定管理 | 2012 | 2012 | 8 | <ul style="list-style-type: none"> ●カーリングシート：5シート ●多目的ホール：108.67㎡ |

| 多目的室 | その他設備 | | | 防災 | | 利用期間 | 利用時間 (一般開放) (専用利用) |
|------|-------|-----------|--------------|-----------------------------------|---------------------------------------|-------|---|
| | エレベータ | 観客席 | 避難場所指定 ※ア | 避難可能人員 | | | |
| — | — | — | — | — | — | — | 10:00~21:00 |
| 37㎡ | — | — | — | — | — | — | 10:00~21:00 |
| 119㎡ | — | — | ○ | — | — | — | 10:00~21:00 |
| 42㎡ | — | — | — | — | — | — | 10:00~21:00 |
| — | — | — | — | — | 指定緊急避難場所 兼 指定避難所(基幹) 【洪水-土砂-地震】 | 1,330 | 10:00~21:00 |
| — | — | — | — | — | 指定緊急避難場所 兼 指定避難所(基幹) 【洪水-土砂-地震】 | 1,120 | 10:00~21:00 |
| 124㎡ | — | — | — | — | — | — | 10:00~21:00 |
| 55㎡ | 57㎡ | — | — | 1,414席 | — | — | 10:00~21:00 |
| 94㎡ | 38㎡ | 38㎡ | — | 2,321席 | — | — | ・スケート 10:00~21:00 ・ホワイエ(卓球) 9:00~21:00 |
| 84㎡ | 48㎡ | 47㎡ | ○ | 1,271席 ・固定席：1,264席 ・車いす席：7席 | — | — | ・スケート(11/1~4/30) 10:00~21:00 ・体育室(6/1~9/30) 9:00~21:00 |
| — | — | — | — | — | — | — | 10:00~22:00 |
| 43㎡ | 31㎡ | 20㎡ ×2 | ○ | 224席 ・固定席：208席 ・車いす席：16席 | — | — | 10:00~21:00 |

(2) 【温水プール、スケート場、カーリング場】

| 施設名称 | 土地 | | 主建物 | | | | 建設事業費 | |
|----------------------------------|----------|----------------|----------|------------|---------------------|-------------|-------------|-------------|
| | 土地面積 (㎡) | 駐車場台数 | 延床面積 (㎡) | 主構造 ※イ | 特定天井 ※ウ | 耐震性 ※エ | 総建設費 (建設時) | うち用地費 |
| 温水プール (8) | | | | | | | | |
| 東温水プール | 4,320 | 44 | 2,396 | RC /SRC | 無 | ◎ | 2,297,432千円 | 1,086,089千円 |
| 白石温水プール | 5,001 | 45 | 2,144 | RC | 無 | ◎ | 2,081,772千円 | 1,239,998千円 |
| 厚別温水プール | 5,765 | 夏 55 冬 50 | 2,926 | RC /SRC /S | 有 2023年度 工事予定 | ◎ | 2,125,553千円 | 813,210千円 |
| 豊平公園温水プール | 8,920 | 21 | 2,100 | RC | 無 | ◎ | 600,000千円 | 0千円 |
| 清田温水プール | 14,840 | 夏 140 冬 80 | 2,361 | RC/S | 有 脱落 対策済 | ◎ | 4,783,500千円 | 1,886,321千円 |
| 西温水プール | 15,798 | 夏 150 冬 120 | 2,573 | RC/S | 有 2022年度 工事予定 | ◎ | 1,242,275千円 | 0千円 |
| 手稲曙温水プール | 5,000 | 50 | 2,395 | RC | 無 | ◎ | 1,626,473千円 | 459,997千円 |
| 平岸プール | 15,222 | 100 | 8,257 | SRC | 無 | ◎ | 5,098,140千円 | 1,487,555千円 |
| スケート場 (3) 、カーリング場 (1) | | | | | | | | |
| 月寒体育館 | 48,166 | 夏 150 冬 100 | 9,780 | SRC | 無 | 改 修 済 | 979,582千円 | 0千円 |
| 美香保体育館 ・冬季：スケートリンク ・夏季：体育館 | 10,330 | 85 | 6,655 | RC | 有 2025年度 工事予定 | 改 修 済 | 685,248千円 | 0千円 |
| 星置スケート場 | 6,289 | 30 | 3,175 | S | 無 | ◎ | 300,000千円 | 0千円 |
| カーリング場 (どうぎんカーリングスタジアム) | 5,219 | 50 | 3,375 | RC | 有 2023年度 工事予定 | ◎ | 1,756,742千円 | 275,940千円 |

体育館含む

| 建設費 (用地費除く) | 利用状況 | | | | | 利用種目(上位5つ) : 平成29年度実績 ※平成30年度の北海道胆振東部地震及び、令和元年度に発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響を考慮し、平成29年度の利用実績を記載 |
|----------------|---------------|---------------|---------------|------------------|--------------------------------|---|
| | 延利用者数 | | | | 床面積 あたりの 利用者数 [H31実績] | |
| | H28 (2016) | H29 (2017) | H30 (2018) | H31・R元 (2019) | | |
| 1,211,343千円 | 148,929 | 143,577 | 75,426 | 115,046 | 48.0 | 水泳 : 137,348、ヨガ : 2,425、 その他フィットネス : 1,984、 ピラティス : 1,792、その他 : 8 |
| 841,774千円 | 53,608 | 81,288 | 92,386 | 76,402 | 35.6 | 水泳 : 78,840、ヨガ : 1,001、 その他フィットネス : 783、 ピラティス : 664 |
| 1,312,343千円 | 132,608 | 129,405 | 129,322 | 120,862 | 41.3 | 水泳 : 127,877、 その他フィットネス : 1,033、 ヨガ : 214、フラダンス : 207、会議 : 59 |
| 600,000千円 | 75,042 | 74,593 | 80,217 | 71,441 | 34.0 | 水泳 : 73,411、 その他フィットネス : 534、 ヨガ : 381、その他 : 153、会議 : 110 |
| 2,897,179千円 | 86,339 | 84,938 | 74,416 | 78,133 | 33.1 | 水泳 : 82,565 |
| 1,242,275千円 | 142,689 | 135,492 | 128,503 | 126,876 | 49.3 | 水泳 : 133,434 |
| 1,166,476千円 | 124,272 | 124,274 | 121,309 | 64,582 | 27.0 | 水泳 : 123,077、その他フィットネス : 790、 フラダンス : 307、会議 : 49、 体操・器械体操 : 28 |
| 3,610,585千円 | 173,824 | 173,223 | 84,391 | 135,671 | 16.4 | 水泳 : 161,970、会議 : 1,813、 ヨガ : 684、その他フィットネス : 356、 その他 : 84 |
| 979,582千円 | 145,318 | 128,999 | 128,248 | 113,530 | 11.6 | スケート : 40,488、卓球 : 33,282、 アイスホッケー : 31,138、フィギュアスケート : 7,729、 ヨガ : 2,398 |
| 685,248千円 | 84,721 | 82,747 | 89,799 | 77,976 | 11.7 | スケート : 32,876、卓球 : 12,907、 フィギュアスケート : 5,221、 バドミントン : 4,942、バレーボール : 4,330 |
| 300,000千円 | 8,297 | 7,262 | 8,524 | 1,846 | 0.6 | アイスホッケー : 25,653、スケート : 15,277、 フィギュアスケート : 6,779 |
| 1,480,802千円 | 52,026 | 48,347 | 49,163 | 43,778 | 13.0 | カーリング : 42,565、その他 : 967、 その他フィットネス : 761、 ヨガ : 617、ピラティス : 414 |

(3) 【野球場、陸上競技場、サッカー場、ラグビー場、弓道場】

| 施設名称 | 区 | 所在 | 運営形態 | 供用開始年度 | 竣工年度 | 経過年数 2020年度時点 | 施設機能 |
|--------------------------------------|----|-----------------|--------|--------|------|------------------|---|
| 野球場 (4) | | | | | | | |
| 円山球場：硬式 | 中央 | 中央区宮ヶ丘・宮の森 | 指定管理 | 1974 | 1974 | 46 | ●中堅117m、両翼 98m |
| 麻生球場：硬式 | 北 | 北区麻生町7丁目 | 指定管理 | 1980 | 1980 | 40 | ●中堅111m、両翼 92m |
| 美香保公園野球場：軟式3面 | 東 | 東区北21～22条東4～5丁目 | 指定管理 | 1951 | 1951 | 69 | ●A球場：中堅96m、両翼84m ●B球場：中堅94m、両翼84m (夜間照明あり) ●C球場：中堅85m、両翼80m |
| 豊平区体育館附属野球場：軟式 | 豊平 | 豊平区月寒東2条20丁目 | 指定管理 | 1984 | 1984 | 36 | ●中堅65m、右58m、左67m |
| 陸上競技場 (2) | | | | | | | |
| 厚別公園競技場 ・フィールド：サッカー場 | 厚別 | 厚別区上野幌3条1・2丁目 | 指定管理 | 1987 | 1986 | 34 | ●全天候型舗装トラック：1周400m、9J-ス ●フィールド(天然芝)：105×70m ●練習走路(ウルトランパス)：64m、4レーン ●トレーニングルーム |
| 円山競技場 ・フィールド：サッカー場 ・冬季：スケートリンク | 中央 | 中央区宮ヶ丘・宮の森 | 指定管理 | 1983 | 1982 | 38 | ●全天候型舗装トラック：1周400m、8J-ス ●フィールド：100m×64.5m (冬季間：1周200mのスケートリンク) |
| サッカー場 (2)、ラグビー場 (1)、弓道場 (1) | | | | | | | |
| 東雁来公園サッカー場 | 東 | 東区東雁来12条4丁目 | 直営(委託) | 2010 | 2008 | 12 | ●フィールド(人工芝)：105m×68m×2面 |
| 月寒屋外競技場ラグビー場 | 豊平 | 豊平区月寒東1条8丁目 | 指定管理 | 1988 | 1987 | 33 | ●フィールド(天然芝) ：ゴールライン間 100.6m、 タッチライン間 69.0m |
| 月寒屋外競技場弓道場 | 豊平 | 豊平区月寒東1条8丁目 | 指定管理 | 1988 | 1987 | 33 | ●和・洋弓併用的：90m級、10的 |

| その他設備 | | 防災 | | 利用期間 | 利用時間 | |
|-------|---|---------------|--------|------------------------------|--|---|
| エレベータ | 観客席 | 避難場所指定※ア | 避難可能人員 | | 一般利用 | 専用利用 |
| ○ | 25,000人 ・内外スタンド：10,500席 ・芝生スタンド：14,500人 | — | — | 4/29～10/15 | — | 8:00～17:00 |
| — | 12,000人 ・内野スタンド：4,350席 ・外野芝生スタンド：7,650人 | 指定緊急避難場所【大火事】 | 11,800 | 4/29～10/15 | 8:00～17:00 | 6:00～17:00 |
| — | A・B球場：簡易スタンド(50人程度) | — | — | 4/29～10/15 | — | [A・C球場] ・4～8月 6:00～19:00 ・9～10月 6:00～18:00 [B球場] ・4～10月 6:00～20:00 |
| — | — | — | — | 4/29～10月上旬 | 6:00～19:00 | |
| — | 20,861人 ・メインスタンド：6,412人 ・バックスタンド：4,823人 ・右サイドスタンド：4,842人 ・左サイドスタンド：4,784人 | — | — | 4/20～10/31 (トレーニング通年) | ・4/20～8/30 8:30～19:00 ・9/1～9/30 8:30～18:00 ・10/1～10/31 8:30～17:00 (トレーニング 9:00～21:00) | ・4/20～8/30 8:30～19:00 ・9/1～9/30 8:30～18:00 ・10/1～10/31 8:30～17:00 (トレーニング 9:00～21:00) |
| — | 12,000人 ・メインスタンド：2,500席 ・バックスタンド盛土：9,500人 | — | — | 4/29～10/15 (スケート1/5～2/11) | ・4/29～8/31 8:30～19:00 ・9/1～10/15 8:30～18:00 (スケート 10:00～19:00) | ・4/29～8/31 8:30～19:00 ・9/1～10/15 8:30～18:00 |
| — | — | — | — | 4/20～11/20 | — | ・4/20～4/28 5:00～17:00 ・4/29～8/31 5:00～19:00 ・9/1～9/30 5:00～18:00 ・10/1～11/3 5:00～17:00 ・11/4～11/20 6:00～16:00 |
| — | 4,715人 ・メイン・バックスタンド：3,545席 ・芝生：1,170人 | — | — | 4/29～10/15 | 8:30～17:30 | 8:30～17:30 |
| — | — | — | — | 4/29～10/31 | ・4/29～8/31 6:00～19:00 ・9/1～9/30 6:00～18:00 ・10/1～10/31 6:00～17:00 | ・4/29～8/31 6:00～19:00 ・9/1～9/30 6:00～18:00 ・10/1～10/31 6:00～17:00 |

(3) 【野球場、陸上競技場、サッカー場、ラグビー場、弓道場】

| 施設名称 | 土地 | | 主建物 | | | | 建設事業費 | |
|--------------------------------------|---------|----------------|-----------------------|-------|--------|-------|-------------|-------------|
| | 土地面積 | 駐車場台数 | 延床面積(m ²) | 主構造※イ | 特定天井※ウ | 耐震性※エ | 総建設費(建設時) | うち用地費 |
| 野球場 (4) | | | | | | | | |
| 円山球場：硬式 | 35,313 | 50 | 3,589 | RC | 無 | ○ | 405,000千円 | 0千円 |
| 麻生球場：硬式 | 35,662 | 250 | 2,983 | RC | 無 | ○ | 725,727千円 | 106,870千円 |
| 美香保公園野球場：軟式3面 | 28,544 | 26 | 207 | S、W | — | ◎ | 美香保公園と一体 | |
| 豊平区体育館付属野球場：軟式 | 13,697 | 夏 100 冬 90 | — | — | — | — | 豊平区体育館に | |
| 陸上競技場 (2) | | | | | | | | |
| 厚別公園競技場 ・フィールド：サッカー場 | 131,332 | 66 | 4,475 | RC/S | 無 | ◎ | 3,624,000千円 | 2,545,000千円 |
| 円山競技場 ・フィールド：サッカー場 ・冬季：スケートリンク | 47,800 | 50 | 2,236 | RC | — | ◎ | 1,138,969千円 | 0千円 |
| サッカー場 (2)、ラグビー場 (1)、弓道場 (1) | | | | | | | | |
| 東雁来公園サッカー場 | 34,135 | 30 | — | — | — | — | 186,954千円 | 0千円 |
| 月寒屋外競技場ラグビー場 | 48,166 | 夏 150 冬 100 | 1,079 | SRC | 無 | ◎ | 602,550千円 | 0千円 |
| 月寒屋外競技場弓道場 | 48,166 | 夏 150 冬 100 | 148 | S | 無 | ◎ | | |

| 建設費 (用地費除く) | 利用状況 | | | | | |
|----------------|---------------|---------------|---------------|------------------|-------------------------------|---|
| | 延利用者数 | | | | 床面積 あたり 利用者数 【H31実績】 | 利用種目（上位5つ）：平成29年度実施 ※平成30年度の北海道胆振東部地震及び、令和元年度に発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を考慮し、平成29年度の利用実績を記載 |
| | H28 (2016) | H29 (2017) | H30 (2018) | H31・R元 (2019) | | |
| 405,000千円 | 152,545 | 140,807 | 175,968 | 150,241 | 41.9 | — |
| 618,857千円 | 60,891 | 70,814 | 59,128 | 67,352 | 22.6 | — |
| で整備 | 48,000 | 47,277 | 43,977 | 45,750 | 221.0 | — |
| 含む | 10,110 | 10,759 | 7,477 | 8,113 | 建物なし | — |
| 1,079,000千円 | 179,216 | 178,967 | 235,753 | 200,021 | 44.7 | 陸上：98,584、サッカー：42,880、 トレーニング：15,744、 その他フィットネス：9,456、ヨガ：3,165 |
| 1,138,969千円 | 107,929 | 102,538 | 96,777 | 93,119 | 40.8 | 陸上：67,272、スケート：7,262、 サッカー：3,515、ヨガ：2,399、 その他フィットネス：1,662 |
| 186,954千円 | 40,246 | 47,503 | 52,831 | 67,669 | 建物なし | — |
| 602,550千円 | 8,013 | 7,445 | 9,223 | 7,943 | 7.4 | — |
| | 2,953 | 0 | 1,148 | 1,119 | 7.5 | — |

(4) 【テニスコート、ジャンプ競技場】

| 施設の名称 | 区 | 所在 | 運営形態 | 供用開始年度 | 竣工年度 | 経過年数 2020年度 時点 | 施設機能 |
|-------|---|----|------|--------|------|----------------------|------|
|-------|---|----|------|--------|------|----------------------|------|

テニスコート (6)

| | | | | | | | |
|-------------|----|-------------|------------|------|------|----|-----------------------|
| 中島公園庭球場 | 中央 | 中央区南15条西4丁目 | 直営 (委託) | 1954 | 1954 | 66 | ●クレイコート×6面 (夜間照明付4面) |
| 円山庭球場 | 中央 | 中央区宮の森 | 指定管理 | 1982 | 1982 | 38 | ●クレイコート×12面 (夜間照明付4面) |
| 月寒屋外競技場庭球場 | 豊平 | 豊平区月寒東1条8丁目 | 指定管理 | 1979 | 1979 | 41 | ●ハードコート×4面 |
| 麻生庭球場 | 北 | 北区麻生町7丁目 | 指定管理 | 1983 | 1982 | 38 | ●ハードコート×2面 |
| スポーツ交流施設庭球場 | 東 | 東区栄町885番地1 | 指定管理 | 1997 | 1997 | 23 | ●砂入り人工芝コート×4面 |
| 平岸庭球場 | 豊平 | 豊平区平岸5条19丁目 | 指定管理 | 2018 | 2017 | 3 | ●セミハードコート×20面 |

ジャンプ競技場 (4)

| | | | | | | | |
|------------|----|-----------------|------------|------|------|----|---|
| 大倉山ジャンプ競技場 | 中央 | 中央区宮の森1274番地外 | 指定管理 | 1970 | 1999 | 21 | ●ラージヒルジャンプ台 : ヒルサイズ 134m、K点 120m、全長 368.1m、 標高差 136.7m、アプローチ 101.0m、 ランディングバーン 202.8m、 ブレーキングトラック 100.0m |
| 宮の森ジャンプ競技場 | 中央 | 中央区宮の森1条18丁目外 | 指定管理 | 1970 | 1970 | 50 | ●ノーマルヒルジャンプ台 : ヒルサイズ 100m、K点 90m、全長 334.7m、 標高差 104.4m、アプローチ 91.8m、 ランディングバーン 142.9m、 ブレーキングトラック 100.0m |
| 荒井山シャンツエ | 中央 | 中央区宮の森902番地外 | 指定管理 | 2003 | 2003 | 17 | ●ミディアムヒルジャンプ台 : ヒルサイズ 62m、K点 55m、全長 200.0m、 標高差 61.5m、アプローチ 51.0m、 ランディングバーン 46.0m、 ブレーキングトラック 83.0m ●スモールヒルジャンプ台 : ヒルサイズ 25m、K点 25m、全長 138.0m、 標高差 28.0m、アプローチ 32.0m、 ランディングバーン 46.0m、 ブレーキングトラック 60.0m |
| 手稲山シャンツエ | 手稲 | 手稲区手稲本町593番地17外 | 直営 (委託) | 1999 | 1999 | 21 | ●スモールヒルジャンプ台 : ヒルサイズ 33m、K点 30m、全長 143.9m、 標高差 37.0m、アプローチ 42.2m、 ランディングバーン 56.7m、 ブレーキングトラック 45.0m |

| その他設備 | | 防災 | | 利用期間 | 利用時間（専用利用） | |
|-------|--|----------|--------|-------------------------|--|--|
| エレベータ | 観客席 | 避難場所指定※ア | 避難可能人員 | | | |
| — | 1,500人(ブロック積スタンド) | — | — | 5/1~10/31 | [夜間照明設備有：4面] ・ 5/1~10/31 6:00~21:00 | [夜間照明設備無：2面] ・ 5/1~8/31 6:00~19:00 ・ 9/1~9/30 6:00~18:00 ・ 10/1~10/31 6:00~17:00 |
| — | 中段：約580人 下段：約770人 | — | — | 4/29~10/31 | [夜間照明設備有：4面] ・ 4/29~5/31 9:00~19:00 ・ 6/1~8/31 9:00~21:00 ・ 9/1~9/30 9:00~18:00 ・ 10/1~10/31 9:00~17:00 | [夜間照明設備無：8面] ・ 4/29~8/31 9:00~19:00 ・ 9/1~9/30 9:00~18:00 ・ 10/1~10/31 9:00~17:00 |
| — | — | — | — | 4/29~10/31 | ・ 4/29~8/31 6:00~19:00 ・ 9/1~9/30 6:00~18:00 ・ 10/1~10/31 6:00~17:00 | |
| — | — | — | — | 4/29~10/31 | ・ 4/29~8/31 9:00~19:00 ・ 9/1~9/30 9:00~18:00 ・ 10/1~10/31 9:00~17:00 | |
| — | — | — | — | 5/1~11/3 | 6:00~21:00 | |
| — | センターコート 600人 | — | — | 4/29~10/31 | ・ 4/29~8/31 9:00~19:00 (土日祝日 6:00~19:00) ・ 9/1~9/30 9:00~18:00 (土日祝日 6:00~18:00) ・ 10/1~10/31 9:00~17:00 (土日祝日 6:00~17:00) | |
| ○ | 50,000人 ・ 固定：3,500席 ・ 立見：46,500人 | — | — | 通年 | ・ 5/1~10/31 9:00~18:00 ・ 11/1~4/30 9:00~17:00 | |
| — | 30,000人 | — | — | 通年 | 9:00~17:00 | |
| — | — | — | — | 5/20~10/20 12/1~3/31 | 9:00~21:00 | |
| — | — | — | — | 12/1~3/31 | 9:00~16:30 | |

(4) 【テニスコート、ジャンプ競技場】

| 施設の名称 | 土地 | | 主建物 | | | | 建設事業費 | |
|--------------------|---------|----------------|-----------------------|-----------|---------------------|-------|---------------|-------|
| | 土地面積 | 駐車場台数 | 延床面積(m ²) | 主構造※イ | 特定天井※ウ | 耐震性※エ | 総建設費(建設時) | うち用地費 |
| テニスコート (6) | | | | | | | | |
| 中島公園庭球場 | 6,144 | 20 | 263 | W | 無 | — | 3,450千円 | 0千円 |
| 円山庭球場 | 20,519 | 50 | 126 | S | — | — | 33,390千円 | 0千円 |
| 月寒屋外競技場庭球場 | 48,166 | 夏 150 冬 100 | — | — | — | — | 8,000千円 | 0千円 |
| 麻生庭球場 | 1,490 | 250 | — | — | — | — | 20,130千円 | 0千円 |
| スポーツ交流施設庭球場 | 133,329 | 306 | — | — | — | — | スポーツ交流(つどいむ)に | |
| 平岸庭球場 | 31,722 | 100 | 418 | — | — | — | 277,796千円 | 0千円 |
| ジャンプ競技場 (4) | | | | | | | | |
| 大倉山ジャンプ競技場 | 87,322 | 128 | 8,658 | SRC、S/RC | 有 2022年度 工事予定 | ◎ | 3,650,000千円 | 0千円 |
| 宮の森ジャンプ競技場 | 41,794 | 0 | 664 | W | 無 | ◎ | 395,000千円 | 0千円 |
| 荒井山シャンツエ | 7,299 | 0 | 255 | RC、S/RC、S | 無 | ◎ | 673,994千円 | 0千円 |
| 手稲山シャンツエ | 6,858 | 3,000 | 65 | S | 無 | ◎ | 95,661千円 | 0千円 |

| 建設費 (用地費除く) | 利用状況 | | | | | |
|----------------|---------------|---------------|---------------|------------------|--------------------------------|---|
| | 延利用者数 | | | | 床面積 あたりの 利用者数 【H31実績】 | 利用種目（上位5つ）：平成29年度実施 ※平成30年度の北海道胆振東部地震及び、 令和元年度に発生した新型コロナウイルス 感染症（COVID-19）の影響を考慮し、 平成29年度の利用実績を記載 |
| | H28 (2016) | H29 (2017) | H30 (2018) | H31・R元 (2019) | | |
| 3,450千円 | 78,313 | 79,757 | 79,686 | 81,014 | 308.3 | — |
| 33,390千円 | 50,394 | 58,193 | 59,806 | 57,227 | 453.2 | — |
| 8,000千円 | 6,714 | 7,619 | 7,271 | 7,096 | 建物なし | — |
| 20,130千円 | 2,659 | 2,602 | 2,729 | 2,454 | 建物なし | — |
| 施設 含む | 10,514 | 10,845 | 7,344 | 9,651 | 建物なし | — |
| 277,796千円 | — | — | 40,557 | 27,909 | 66.7 | — |
| 3,650,000千円 | 935 | 961 | 385 | 904 | 0.1 | — |
| 395,000千円 | 2,718 | 3,080 | 2,236 | 2,196 | 3.3 | — |
| 673,994千円 | 2,881 | 2,022 | 2,591 | 1,992 | 7.8 | — |
| 95,661千円 | 情報なし | 情報なし | 情報なし | 情報なし | — | — |

(5) 【その他施設】

| 施設の名称 | 区 | 所在 | 運営 形態 | 供 用 開 始 年 度 | 竣 工 年 度 | 経過 年数 2020 年度 時点 | 施設機能 |
|-------------------|----|-----------------|----------|----------------------------|------------------|------------------------------|--|
| その他施設 (5) | | | | | | | |
| 白旗山競技場 | 清田 | 清田区真栄 502番地1 | 指定 管理 | 1990 | 1990 | 30 | <ul style="list-style-type: none"> ●距離スキーコース：25km×幅6m ●フィールド(天然芝)：105×70m×2面 ●ローラースキーコース：約630m |
| 藤野野外スポーツ 交流施設 | 南 | 南区藤野 473番地1 | 指定 管理 | 2001 | 1984 | 36 | <ul style="list-style-type: none"> ●リフト：3基 ・第1ペアリフト：延長428m、搬器72個 ・第1ロマンスリフト：延長600m、搬器87個 ・第2ロマンスリフト：延長438m、搬器64個 ●ゲレンデ ・コース：6コース ・標高差：300m ・最大斜度：38度 |
| 藤野リ्यूージュ競技場 | 南 | 南区藤野 473番地1 | 指定 管理 | 1968 | 1970 | 50 | <ul style="list-style-type: none"> ●リ्यूージュコース ・全長：1,100m(直線547.3m,曲線552.7m) ・標高差：100.2m ・カーブ箇所：14箇所 ・最大斜度：10°0.9' ・平均斜度：5°42' |
| スポーツ交流施設 (つどむ) | 東 | 東区栄町 885番地1 | 指定 管理 | 1997 | 1997 | 23 | <ul style="list-style-type: none"> ●アリーナ：11,484㎡ ・野球(軟式)：中堅101m、両翼81m ・サッカー：56m×80m ・フットサル：4面 ・テニス：8面 ●ランニングコース：1周400m ●トレーニング室：240㎡ ●幼児遊戯室(プレイルーム)：33㎡ ●屋外施設 ・テニスコート、球技場、パークゴルフ場、イベント広場 |
| 札幌ドーム | 豊平 | 豊平区羊ヶ丘 1番地 | 指定 管理 | 2001 | 2001 | 19 | <ul style="list-style-type: none"> ●クローズドアリーナ：14,460㎡ ・サッカー(天然芝)：120m×85m ・野球(硬式、人工芝)：中堅122m、両翼100m ●トレーニング室：330㎡ ●屋外サッカー練習場 ・天然芝：105m×68m ・人工芝：105m×68m |

| その他設備 | | 防災 | | 利用期間 | 利用時間 | |
|-------|-----|--------------|--------|------|------|------|
| エレベータ | 観客席 | 避難場所指定 ※ア | 避難可能人員 | | 一般利用 | 専用利用 |

| | | | | | | |
|---|----------------------------------|-------------------|---------|---|--|--|
| — | — | — | — | 6/1～9/30 | — | 8:30～21:00 |
| — | — | — | — | ・フィールド 通年 ・第1～3リフト 12/1～3/31 | ・4/1～11/30 9:00～17:00 ・12/1～3/31 9:00～21:00 | — |
| — | — | — | — | 12/1～3/31 | 9:00～21:00 | — |
| ○ | 1,200席 ・1階：200席 ・2階：1,000席 | 指定緊急避難場所 【大火事】 | 54,552 | 通年 | ・アリーナ 5:30～21:00 ・ランニングコース、 トレーニング室 9:00～21:00 | ・アリーナ 5:30～8:00 9:00～21:00 ・ランニングコース、 トレーニング室 5:30～8:00 9:00～21:00 |
| ○ | 41,484席 | 指定緊急避難場所 【大火事】 | 107,888 | 通年 | ・トレーニング室 6:00～21:00 | ・アリーナ 5:00～22:00 (土日祝 5:00～ 22:30) |

(5) 【その他施設】

| 施設の名称 | 土地 | | 主建物 | | | | 建設事業費 | |
|-----------------|----------|-----------------------------------|----------|----------|---------|--------|--------------|--------------|
| | 土地面積 (㎡) | 駐車場台数 | 延床面積 (㎡) | 主構造 ※イ | 特定天井 ※ウ | 耐震性 ※エ | 総建設費 (建設時) | うち用地費 |
| その他施設 (5) | | | | | | | | |
| 白旗山競技場 | 85,198 | 100 | 1,269 | S/RC | 無 | ◎ | 1,631,334千円 | 254,000千円 |
| 藤野野外スポーツ交流施設 | 329,790 | 500 | 1,720 | S | 無 | ◎ | — | 725,011千円 |
| 藤野リユージュ競技場 | 329,790 | 500 | 120 | W、S | 無 | ◎ | 106,000千円 | 0千円 |
| スポーツ交流施設 (つどーむ) | 133,329 | 306 | 19,158 | SRC/S | 無 | ◎ | 5,600,000千円 | 4,410,101千円 |
| 札幌ドーム | 305,230 | 1,612 ・一般車両：1,391 ・関係者用：221 | 98,232 | RC、SRC、S | 無 | ◎ | 53,732,124千円 | 11,500,022千円 |

| 建設費 (用地費除く) | 利用状況 | | | | | 利用種目（上位5つ）：平成29年度実績 ※平成30年度の北海道胆振東部地震及び、令和元年度に発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を考慮し、平成29年度の利用実績を記載 |
|----------------|---------------|---------------|---------------|------------------|--------------------------------|---|
| | 延利用者数 | | | | 床面積 あたりの 利用者数 【H31実績】 | |
| | H28 (2016) | H29 (2017) | H30 (2018) | H31・R元 (2019) | | |
| 1,377,334千円 | 24,440 | 19,573 | 20,794 | 7,408 | 5.8 | 歩くスキー・クロスカントリースキー：9,515、 サッカー：6,208 |
| — | リフト延べ利用者数 | | | | 198.5 | スキー：802,194 |
| 106,000千円 | 698 | 878 | 965 | 576 | 4.8 | リユージュ：878 |
| 1,189,899千円 | 1,120,356 | 1,078,096 | 1,194,288 | 854,257 | 44.6 | 展示会等イベント：873,507、 ランニング：69,860、 レクリエーション(運動会等)：22,417、 フットサル22,250、 野球：20,713 ※屋外庭球場利用者は「テニスコート (スポーツ交流施設庭球場)」に計上 |
| 42,232,102千円 | 3,126,047 | 3,046,544 | 2,796,612 | 2,921,083 | 29.7 | プロ野球観戦：1,899,849、 コンサート：392,000、 プロサッカー観戦：316,591、 展示会等イベント：137,041、 自主・共催イベント：84,693 |